

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **1**

所管課 **健康福祉部 保育課**

第	2	章	大	あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進	中	幼稚園、保育所(園)、認定こども園等	小	
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野			
事業(教育・啓発)対象者	教職員	市職員等	
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人間形成の基礎が培われる乳幼児期の生活環境を整え、子どもの発達を保障する。 ・ 保育従事者の研修体制の充実を図り、きめ細やかな保育を実施する。 ・ 異年齢交流事業や世代間交流事業等を通し、子どもたちが多様な人々と関わり、他者を受け入れる気持ちを育てる。 		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人の子どもの発達過程や生活環境、こどもの特性などに十分留意して保育を行っている。 ・ 継続的に職員研修を実施してきたことで、保育の質の向上が図られた。 ・ 子どもたちが多様な人々と関わり、他人の存在に気づき、相手を尊重する気持ちが育っている。 		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	市職員等	
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人間形成の基礎が培われる乳幼児期の生活環境を整え、子どもの発達を保障する。 ・ 保育従事者の研修体制の充実を図り、きめ細やかな保育を実施する。 ・ 異年齢交流事業や世代間交流事業等を通し、子どもたちが多様な人々と関わり、他者を受け入れる気持ちを育てる。 		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **2**

所管課 **教育委員会 学校教育課**

第	2	章	大	あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進	中	学校	小	児童生徒一人ひとりを深く見つめる教育の推進
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員		
実施事業	<p>「足利市の学校における人権教育推進の方策」の周知 学校教育指導計画に、「人権教育の推進」を位置付け、実践的な研究の推進を働きかける。 人権教育研究学校の指定（筑波小学校・坂西中学校） 市教委主催人権教育研修会の実施（授業参観） 人権教育に関する教科指導員の任命（3名）</p>		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒一人一人を大切にし、目に見えた事実の背景にあるものを掴もうとする姿勢が明確になってきている。 ・教師の子どもを見る眼を養うために「チェックポイント」の自校化を図っている。 ・一人一人多様な子どもたちにきめ細かな対応をするために、学校全体での共通理解と指導態勢を確立する必要がある。 ・児童生徒理解をさらに深め、個に応じた支援を考えていくことで、信頼関係を深める必要がある。 		
達成率〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員		
事業計画	<p>「足利市の学校における人権教育推進の方策」の周知 学校教育指導計画に、「人権教育の推進」を位置付け、各学校における実践的な研究の推進を働きかける。 人権教育研究学校の指定（筑波小学校・坂西中学校） 市教委主催人権教育研修会の実施（市内全小中学校の参加） 人権教育に関する教科指導員の任命（3名）</p>		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **3**

所管課 教育委員会 学校教育課

第	2	章	大	あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進	中	学校	小	豊かな人間性を育成する教育の推進
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員		
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育指導計画に、「道徳教育・情操教育の充実」を位置付け、人としてよりよく生きるための基盤となる道徳性を育む指導の工夫に努めるよう周知。 ・指導主事が、道徳の授業を参観し指導助言することを通して教員の指導力向上を図った。また、指導助言した内容は、授業者だけでなく、管理職にも伝えて校内で共有するようにした。 		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態を踏まえ、道徳科の授業における指導の在り方等について研究授業を行うなど、学校全体で取り組んでいる。 ・今年度はコロナ禍であったが、工夫しながら運動会や宿泊学習等の学校行事を実施したり、廃品回収やボランティア活動といった地域の方と交流する機会を設けたりするなど、児童生徒が道徳的価値にふれられる体験の場をしている。 ・今後、道徳科の授業と教育活動全体との関連をさらに意識して、道徳教育を推進する必要がある。 		
達成率〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員		
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育指導計画に、道徳教育・情操教育の充実を位置付け、人としてよりよく生きるための基盤となる道徳性を育む指導の工夫に努めることの確認及び周知 ・道徳科を要とし、各教科・領域との関連を図りながら教育活動全体で道徳性を育めるよう、道徳教育指導計画等の充実と活用に努めることの確認及び周知 		
事業の方向性	〔目標値〕	1	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	教師と児童生徒及び児童生徒相互の人間関係を深めることを基盤に据え、児童生徒の内面に根ざした道徳性の育成を図る必要があるため。	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **4**

所管課 教育委員会 学校教育課

第	2	章	大	あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進	中	学校	小	指導内容・方法の改善
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員		
実施事業	「足利市の学校における人権教育推進の方策」の周知 人権教育研究学校の指定（筑波小学校・坂西中学校） 市教委主催人権教育研修会の実施（市内全小中学校の参加） 人権教育推進校指定（11校） （保護者啓発を中心にした実践。年2回の連絡協議会）の開催 人権教育に関する教科指導員の任命（3名）		
成果課題	・教師の子どもを見る眼を養うために、「チェックポイント」の自校化を図っている。 ・児童生徒一人一人の実態に応じてわかる授業を展開しようとしたり、ペアやグループなどの学習形態を取り入れたりするなど、授業時間内での指導の工夫、形成的評価の実践がなされた。また、A児を見つめ、手立てを考える思索と実践を繰り返し、子どもの理解に努めていた。 ・多様な子どもたちにきめ細かく対応するために、学校全体での共通理解と指導態勢確立の必要がある。		
達成率〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員		
事業計画	「足利市の学校における人権教育推進の方策」の周知 人権教育研究学校の指定（2校）研究報告会の開催（1校） 市教委主催人権教育研修会の実施（市内全小中学校の参加） 人権教育推進校指定（11校） （保護者啓発を中心にした実践。年2回の連絡協議会）の開催 人権教育に関する教科指導員の任命（3名）		
事業の方向性	〔目標値〕	1	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	足利市の小中学校においては、人権教育を学校教育改善の重要にして具体的な視点として捉え、地域や学校、教師、児童生徒の実態を踏まえながら、着実な実践を積んでいくため、今後とも積極的に充実を図っていく。	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **5**

所管課 教育委員会 学校教育課

第	2	章	大	あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進	中	学校	小	学校・家庭・地域社会との連携
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	その他	
実施事業	人権教育研究学校の指定(2校) 人権教育推進校指定(11校) (保護者啓発を中心にした実践。年2回の連絡協議会)の開催 人権教育に関する教科指導員の任命(3名) 人権教育推進本部学校教育推進部会の開催(年3回)		
成果課題	・人権教育研究学校において、教師が児童生徒の把握と関係づくりに努め、それらを授業をはじめ学校生活の中でいかし、語り合う関係づくりについての実践がなされた。また、各学校においては、コロナの影響が残る状況の中、授業参観、学年部会など、学校だより等の機会を捉えて人権教育について保護者啓発を工夫して行っていた。 ・幼・保・小・中・高・家庭・地域における子どもたちの人権にかかわる課題について情報共有、情報交換をすることができた。学校教育推進部会では、羽刈保育所の授業参観を通して研修を行った。		
達成率〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	その他	
事業計画	人権教育研究学校の指定(2校) 人権教育推進校指定(11校) (保護者啓発を中心にした実践。年2回の連絡協議会)の開催 人権教育に関する教科指導員の任命(3名) 人権教育推進本部学校教育推進部会の開催(年3回)		
事業の方向性	〔目標値〕	1	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	足利市の小中学校においては、人権教育を学校教育改善の重要にして具体的な視点として捉え、中学校区教育を推進しながら、児童生徒の実態を踏まえ、地域や学校、保護者が連携して着実な実践を積んでいくため、今後とも積極的に充実を図っていく。	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **6**

所管課 **教育委員会 生涯学習課**

第	2	章	大	あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進	中	家庭	小	学習機会の充実及び情報提供
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般	女性	子ども
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	家庭教育懇談会（毛野・筑波・葉鹿の3地区：8月～2月）		
成果課題	毛野地区：R4年度実施のアンケート結果を踏まえ、平日午前の時間帯に集合形式で実施。参加者51名 筑波地区：R3年度実施のアンケート結果を踏まえ、平日午後の時間帯に集合形式とオンラインの併用で実施。参加者49名 葉鹿地区：R3年度実施のアンケート結果を踏まえ、平日夜間の時間帯に集合形式とオンラインの併用で実施。参加者52名 ・オンラインの利用は参加者数の増加に有効と思われるが、まだまだ市民のICT浸透度が低いと感じる。		
達成率〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A：100～90% B：89～70% C：69～30% D：29～1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般	女性	子ども
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	令和5年度は助戸地区での実施を予定する他、子育て世帯の参加しやすさを考慮して、新たな手法・方法での実施も模索・試行していきたい。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1：充実 2：現状維持 3：内容見直し 4：統廃合 5：縮小 6：その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **7**

所管課 **教育委員会 生涯学習課**

第	2	章	大	あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進	中	家庭	小	家庭教育及び子育て支援事業の推進
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般	女性	子ども
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	家庭教育学級の開設 ・家庭教育学級数6、延べ受講者数880人 ・乳幼児学級数8、延べ受講者数537人		
成果課題	コロナ感染対策を取りながら、内容、実施方法を工夫し実施した。乳幼児学級では、参加者が集まらず中止となった公民館があったため、次年度は内容・実施方法等を検討しながら実施したい。		
達成率〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般	女性	子ども
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	社会の変化やニーズの変化を注視しながら、必要課題と要求課題を意識し、ICTを活用したりリモート講座の充実も図っていききたい。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **8**

所管課 教育委員会 生涯学習課

第	2	章	大	あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進	中	家庭	小	関係団体との連携
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般	女性
事業(教育・啓発)対象者	市民等	
実施事業	家庭教育懇談会（毛野・筑波・葉鹿の3地区：8月～2月）	
成果課題	毛野地区：令和4年度に実施したアンケート結果を踏まえ、平日午前の時間帯に集合形式で実施。 筑波地区：令和3年度に実施したアンケート結果を踏まえ、平日午後の時間帯に集合形式とオンラインの併用で実施。 葉鹿地区：令和3年度に実施したアンケート結果を踏まえ、平日夜間の時間帯に集合形式とオンラインの併用で実施。 ・オンラインの利用は参加者数の増加に有効と思われるが、まだまだ市民のICT浸透度が低いと感じる。	
達成率〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A：100～90% B：89～70% C：69～30% D：29～1%

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般	女性
事業(教育・啓発)対象者	市民等	
事業計画	令和5年度は助戸地区での実施を予定する他、子育て世帯の参加しやすさを考慮して、新たな手法・方法での実施も模索・試行していきたい。 引き続き小中学校や地域団体との連携を密にして取り組んでいきたい。	
事業の方向性	〔目標値〕	2 【次の中から1つ選んでください】 1：充実 2：現状維持 3：内容見直し 4：統廃合 5：縮小 6：その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **9**

所管課 教育委員会 生涯学習課

第	2	章	大	あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進	中	家庭	小	人権意識の啓発
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般	女性
事業(教育・啓発)対象者	市民等	
実施事業	家庭教育懇談会（毛野・筑波・葉鹿の3地区：8月～2月）	
成果課題	毛野地区：令和4年度に実施したアンケート結果を踏まえ、平日午前の時間帯に集合形式で実施。 筑波地区：令和3年度に実施したアンケート結果を踏まえ、平日午後の時間帯に集合形式とオンラインの併用で実施。 葉鹿地区：令和3年度に実施したアンケート結果を踏まえ、平日夜間の時間帯に集合形式とオンラインの併用で実施。 ・オンラインの利用は参加者数の増加に有効と思われるが、まだまだ市民のICT浸透度が低いと感じる。	
達成率〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A：100～90% B：89～70% C：69～30% D：29～1%

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般	女性
事業(教育・啓発)対象者	市民等	
事業計画	令和5年度は助戸地区での実施を予定する他、子育て世帯の参加しやすさを考慮して、新たな手法・方法での実施も模索・試行していきたい。 今後も意見交換、啓発につながる場の提供をしていく。	
事業の方向性	〔目標値〕	2 【次の中から1つ選んでください】 1：充実 2：現状維持 3：内容見直し 4：統廃合 5：縮小 6：その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **10**

所管課 **教育委員会 生涯学習課**

第	2	章	大	あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進	中	地域社会	小	多様な学習機会の充実
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般	女性
事業(教育・啓発)対象者	市民等	
実施事業	公民館学級講座（17公民館116学級講座、延べ参加者数約9,675名）	
成果課題	新型コロナウイルス感染症の感染状況や、参加者が集まらずに中止となる学級講座もあったが、内容や実施方法の工夫によりおおむね予定通り実施した。	
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	社会の変化やニーズの変化を注視しながら、必要課題と要求課題を意識し、市内の全ての公民館で多種多様な学級・講座等を実施していく。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **11**

所管課 **教育委員会 生涯学習課**

第	2	章	大	あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進	中	地域社会	小	学習内容及び方法の工夫改善
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	令和4年度は引き続き、学級講座や研修におけるマスク着用・参加人数の制限・ソーシャルディスタンスの確保・消毒の徹底等のコロナ対策を行った。		
成果課題	コロナ感染対策を取りつつ、内容や実施方法を工夫し実施したが、今後はICT活用などの社会の変化に対応した工夫や改善が求められる。		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	参加者のニーズを的確に読み取り、多様な形式、内容の講座等の実施に努める。内容の精査、その内容に最適な形式などを意識し実施していく。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **12**

所管課 **教育委員会 生涯学習課**

第	2	章	大	あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進	中	地域社会	小	人権教育を推進する指導者の養成
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般	部落差別(同和問題)	その他の人権課題
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
実施事業	人権教育指導者養成講座(2回:10月)		
成果課題	少人数で実施する人権教育指導者養成講座は、10月に全2回実施しました。 ・10月19日「ゲットザポイント」～カードゲームで学ぶSDGs～ 受講者24名 ・10月26日「多文化共生について」～外国人の人権とやさしい日本語～ 受講者19名		
達成率〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A: 100~90% B: 89~70% C: 69~30% D: 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般	部落差別(同和問題)	その他の人権課題
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	社会の変化に対応しながら、継続して取り組んでいく。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1: 充実 2: 現状維持 3: 内容見直し 4: 統廃合 5: 縮小 6: その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **13**

所管課 **教育委員会 生涯学習課**

第	2	章	大	あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進	中	地域社会	小	啓発及び各種資料の充実
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	人権月間におけるホームページへの資料掲載による啓発(8月) 人権週間におけるホームページ及びGIGAスクール端末への資料掲載による啓発(12月上旬) 人権かみしばい「いきる のびる ちから」の活用		
成果課題	人権月間には、足利市ホームページに人権啓発記事を掲載。 12月の人権週間に合わせて、足利市ホームページに人権啓発記事を掲載すると同時に、GIGAスクール端末のデスクトップにリンクアイコンを設置し、啓発を図った。 人権かみしばいは、関連イベントで展示したり、関係団体への貸し出しを行った。		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	啓発等は地道に継続して行っていく事が重要であるため、今後も継続実施していく。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **14**

所管課 **教育委員会 生涯学習課**

第	2	章	大	あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進	中	地域社会	小	学校及び家庭との連携
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	教職員	社会教育関係職員
実施事業	地域ふれあい学級（6公民館6講座・延べ683名参加）		
成果課題	該当公民館にて、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら内容、実施方法を工夫し、学級を実施した。		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	教職員	社会教育関係職員
事業計画	参加者のニーズを的確に読み取り、多様な形式、内容の講座等の実施に努める。内容の精査、その内容に最適な形式などを意識し実施していく。地域の大人と子どもの交流を進め、意欲的な社会参加の促進を図っていく。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **15**

所管課 産業観光部 商業にぎわい課

第	2	章	大	企業、団体等の主体的な取組への支援	中	企業等に対する啓発・研修活動の支援	小	
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	新型コロナウイルス感染拡大のため、企業訪問が行えない時期もありましたが、人権パンフレットを基に周知を行った。		
成果課題	採用、昇進等において性別や年齢等による差別をしない人権に配慮した体制づくりやハラスメントを許さない明るい職場の雰囲気づくりを企業に周知していくことが重要であり、今後も継続的な啓発が必要である。		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	企業訪問・ホームページ等により、周知していきたい。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **16**

所管課 **産業観光部 商業にぎわい課**

第	2	章	大	企業、団体等の主体的な取組への支援	中	企業内人権教育・啓発等に対する支援	小	
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	職場における人権教育・啓発に関する自主的取組が推進されるよう支援するため、人権啓発パンフレットを作成し、配布した。		
成果課題	女性、障がい者及び高齢者等がより働きやすい職場環境を構築することが課題であり、企業に周知していくことが重要である。今後も継続的な啓発が必要である。		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	昨年度と同様、人権啓発、労働問題の解決及び職場環境の構築に寄与するための人権啓発パンフレットの作成・配布を実施する。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **17**

所管課 **産業観光部 商業にぎわい課**

第	2	章	大	企業、団体等の主体的な取組への支援	中	労働相談支援体制の充実	小	
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	賃金、労働条件、労務管理等労使双方からの相談に応じるため、社会保険労務士による相談を、毎月1回開催した。		
成果課題	各種労働問題等に関する専門的な相談に応じ、問題解決に寄与した。		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	前年度と同様、労働問題の解決に寄与するため相談会を実施する。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **18**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	2	章	大	指導者の育成	中		小	
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	その他		
実施事業	足利人権擁護委員協議会足利部会委員の研修会等への参加 ・安足地区人権教育指導者一般研修(5月:1回) 予定のみ。擁護委員都合により不参加。 ・人権問題講演会(7~8月:全2回) ・委員事務研究会(8・1月:各1回) ・人権教育指導者養成講座(10月:全2回) ・視察研修(3月) ・その他(参加可能な研修会等に積極的に参加した)		
成果課題	令和元年度実施以来の視察研修実施。人権擁護委員の各種研修会への積極的な参加によって、人権に関する地域のよき理解者としての育成が進んできており、気軽に相談できる身近な指導者・相談者となっている。 しかし、人権問題は複雑多岐にわたるため、様々な課題に的確な対応ができる指導者を育成することは必要であり、今後も専門的な学習の場への積極的な参加が不可欠である。		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A: 100~90% B: 89~70% C: 69~30% D: 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	その他		
事業計画	前年度と同様に人権擁護委員が人権に関する地域のよき理解者として、身近な指導者・相談者となるよう様々な人権課題に関する専門的な学習の場への積極的な参加を促す。 視察研修については、コロナ禍であっても実施可能な研修(視察ではないものなど)に変更を検討していく。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1: 充実 2: 現状維持 3: 内容見直し 4: 統廃合 5: 縮小 6: その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **19**

所管課 **教育委員会 生涯学習課**

第	2	章	大	指導者の育成	中		小	
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般	部落差別(同和問題)	その他の人権課題
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
実施事業	人権教育指導者養成講座(2回:10月)		
成果課題	少人数で実施する人権教育指導者養成講座は、10月に全2回実施しました。 ・10月19日「ゲットザポイント」～カードゲームで学ぶSDGs～ 受講者24名 ・10月26日「多文化共生について」～外国人の人権とやさしい日本語～ 受講者19名		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A: 100~90% B: 89~70% C: 69~30% D: 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般	部落差別(同和問題)	その他の人権課題
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
事業計画	社会の変化に対応しながら、継続して取り組んでいく。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1: 充実 2: 現状維持 3: 内容見直し 4: 統廃合 5: 縮小 6: その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **20**

所管課 行政経営部 人事課

第	2	章	大	人権に特に関係する職業従事者に対する人権教育・啓発の推進	中	市職員等	小	
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市職員等		
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> 様々な人権問題について理解を深めるとともに人権意識を高め、人権尊重社会の実現に向けた実践力の向上を図るため、人権問題講演会に多くの職員を参加させました。 人権に関する正確な知識と豊かな人権感覚を身につけるとともに、啓発推進のための実践力を養うことを目的に、階層別研修において人権講話を行いました。 		
成果課題	集合研修の継続により、職員の人権問題に対する正しい認識は深まっていると思われます。その一方で、人権問題の内容によっては、世代間の認識に差があることが感じられ、今後も継続的に啓発活動を行っていく必要があると思います。		
達成率〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市職員等		
事業計画	職員の世代や経験に合わせた集合研修を実施するとともに、庁内システムを活用して人権に関する課題やニュースの情報提供に努めます。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **21**

所管課 行政経営部 デジタル戦略課

第	2	章	大	人権に特に関係する職業従事者に対する人権教育・啓発の推進	中	市職員等	小	
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市職員等		
実施事業	特定個人情報(個人番号をその内容に含む個人情報)を取り扱う事務において、必要とされる安全管理措置について説明会を実施しました。		
成果課題	個人番号利用事務を所管とする課の事務取扱担当者(補助職員含む。)を対象としているため、説明会に全員が出席できる環境づくりが課題となります。令和4年度は、各担当のリーダー、異動により担当となった職員は必須とし、説明会を4回実施、92人が出席しました。		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市職員等		
事業計画	特定個人情報等の適切な取扱いに関する説明会を実施します。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **22**

所管課 **教育委員会 学校教育課**

第	2	章	大	人権に特に関係する職業従事者に対する人権教育・啓発の推進	中	教職員	小	
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	その他	
実施事業	教師の同和問題をはじめ人権問題の認識を深める研修（被差別体験者との交流研修）のオンライン実施 市教委主催人権教育研修会の実施 人権教育研究学校の指定（2校） 人権教育推進校指定（11校） （保護者啓発を中心にした実践。年2回の連絡協議会）の開催 教師向け選択研修（「教師論・教育論」）		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインを活用することで、協議会の方と参加者が直接のやりとりをとおして、同和問題の認識を深めることができた。 ・児童生徒一人一人を大切に、きめ細かくかかわろうとする姿勢が明確になってきている。 ・児童生徒一人一人に着眼し、具体的なかかわりを通して不安や悩みを把握し、教師と児童生徒、保護者の三者で語り合う関係づくりを目指している。 		
達成率〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	その他	
事業計画	教師の同和問題をはじめ人権問題の認識を深める研修（被差別体験者との交流研修） 市教委主催人権教育研修会の実施（市内全小中学校の参加） 人権教育研究指定校の指定（2校） 人権教育推進校指定（11校） （保護者啓発を中心にした実践。年2回の連絡協議会）の開催 教師向け選択研修の開催（「教師論・教育論」）		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **23**

所管課 **教育委員会 生涯学習課**

第	2	章	大	人権に特に関係する職業従事者に対する人権教育・啓発の推進	中	社会教育関係職員	小	
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	部落差別(同和問題)		
事業(教育・啓発)対象者	社会教育関係職員	市職員等	
実施事業	生涯学習課初任者人権研修		
成果課題	4月5日に公民館新任、生涯学習課新規配属職員を対象に研修を実施。		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	部落差別(同和問題)		
事業(教育・啓発)対象者	社会教育関係職員	市職員等	
事業計画	令和5年度の新任者を含む公民館職員の意識の向上、知識の習得を実践していく。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **24**

所管課 消防本部 消防総務課

第	2	章	大	人権に特に関係する職業従事者に対する人権教育・啓発の推進	中	消防職員	小	
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	消防職員		
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・職場内の研修に合わせて実施 ・ハラスメントに関するアンケート調査の実施 		
成果課題	<p>・消防は各種災害現場において、市民生活と密接に関わることから、職場内研修時に人権に関する内容の研修を行い、人権問題に関する正しい知識を身に付け、業務に反映させることができた。また、ハラスメントに関するアンケート調査を実施し、職場環境の現状把握と改善に努めた。</p>		
達成率 〔評価値〕	B	<p>【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価</p> <p>A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%</p>	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	消防職員		
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメントに関するアンケート調査の実施 ・ハラスメント研修会等の実施 ・職場内研修の実施 		
事業の方向性	〔目標値〕	2	<p>【次の中から1つ選んでください】</p> <p>1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合</p> <p>5 : 縮小 6 : その他</p>
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **25**

所管課 **健康福祉部 社会福祉課**

第	2	章	大	人権に特に関係する職業従事者に対する人権教育・啓発の推進	中	福祉関係者	小	
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	その他		
実施事業	<p>足利市民生委員児童委員連合会主催の研修会を年2回開催し、分科会においては意見交換等とおして日頃の活動等について共通理解を図るとともに、課題等解決の参考にしていただく。</p> <p>1回目：令和4年6月15日(水) 2回目：令和4年7月13日(木)</p>		
成果課題	<p>マスク着用・手指消毒・換気等の感染対策をしっかりと行い、計画通り研修会を開催した。各民生委員・児童委員の日頃の活動上の悩みなどを共有できたことで、有意義な研修会となった。民生委員・児童委員は、地域において様々な人と関わり合う活動を行う中で、人権教育・啓発の推進者として行政と連携を図り、行動計画を推進していく役割を担う立場でもあるため、情報交換や共有により、見守りの強化につなげていけるよう活動に取り組みたい。</p>		
達成率〔評価値〕	A	<p>【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価</p> <p>A：100～90% B：89～70% C：69～30% D：29～1%</p>	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	その他		
事業計画	<p>足利市民生委員児童委員連合会主催の研修会を開催し、分科会においては意見交換等を通して日頃の活動等について共通理解を図るとともに、課題等の解決の参考にしていただく。</p> <p>令和5年6月14日(水) 令和5年7月12日(水)</p>		
事業の方向性	〔目標値〕	2	<p>【次の中から1つ選んでください】</p> <p>1：充実 2：現状維持 3：内容見直し 4：統廃合 5：縮小 6：その他</p>
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **26**

所管課 **健康福祉部 元気高齢課**

第	2	章	大	人権に特に関係する職業従事者に対する人権教育・啓発の推進	中	福祉関係者	小	
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般	高齢者	その他の人権課題
事業(教育・啓発)対象者	市民等	福祉関係者	その他
実施事業	○権利擁護事業(高齢者虐待防止・成年後見制度支援)：地域包括支援センターが、介護支援専門員や介護サービス事業者に対し高齢者の人権を守るための啓発を行った。 ○高齢者支援連携協力会議：地域包括支援センターが主体となり、地域団体の方や介護支援専門員の参集により、高齢者に対する地域の見守り支援等について意見交換を行った【開催回数：47回】 ○総合相談事業：地域包括支援センターが窓口となり、介護支援専門員や介護サービス事業者からの認知症高齢者の権利擁護や虐待に関する相談に個別に対応した。【882件】 ○スーパービジョン(事例検討会)：地域包括支援センターのケアマネ支援の中で、権利擁護についての啓発を行った。【6回】		
成果課題	介護支援専門員や介護サービス事業者が、認知症高齢者を支援するための地域のネットワーク作りの必要性や介護者支援による虐待予防の必要性について認識するために効果的であった。認知症高齢者が増加する中、高齢者の人権を守るため高齢者虐待予防・成年後見制度利用を福祉関係者が理解し、地域住民と連携し普及啓発することが重要である。		
達成率〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A：100～90% B：89～70% C：69～30% D：29～1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般	高齢者	その他の人権課題
事業(教育・啓発)対象者	市民等	福祉関係者	その他
事業計画	○権利擁護事業(高齢者虐待防止・成年後見制度支援)：地域包括支援センターが介護支援専門員や介護サービス事業者に対し高齢者の人権を守るための啓発を行います。【開催随時】 ○高齢者支援連携協力会議：地域包括支援センターが主体となり、地域団体の方や介護支援専門員の参集により、高齢者に対する地域の見守り支援等について意見交換を行います。【開催随時】 ○総合相談業務：地域包括支援センターが窓口となり、介護支援専門員や介護サービス事業者からの認知症高齢者の権利擁護や虐待に関する相談に個別に対応します。 ○スーパービジョン(事例検討会)：地域包括支援センターのケアマネ支援の中で、権利擁護についての啓発を行います。【隔月開催6回】		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1：充実 2：現状維持 3：内容見直し 4：統廃合 5：縮小 6：その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **27**

所管課 **教育委員会 学校教育課**

第	3	章	大	部落差別(同和問題)	中	人権を尊重する教育の推進	小	学校教育の充実
人権問題の分野				部落差別(同和問題)				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	部落差別(同和問題)		
事業(教育・啓発)対象者	教職員		
実施事業	「足利市の学校における人権教育推進の方策」の周知 被差別体験者との交流研修 人権教育研究学校の指定(2校) 市教委主催人権教育研修会の実施 人権教育推進校指定(11校) (保護者啓発を中心にした実践。年2回の連絡協議会)の開催 人権教育に関する教科指導員の任命(3名)		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> 被差別体験者との交流研修、解放新聞、書籍資料等から差別の実態に学ぶことをとおして、教師の同和問題に対する認識を深め、子どもを丁寧に見ようとする眼が深まってきている。 さらに、「把握」と「関係づくり」を積み重ねることで、被差別部落出身の保護者や児童生徒と同和問題について語り合える関係を目指す必要がある。 同和問題の認識を深める研修の目的を共有し、方法を工夫する必要がある。 		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	部落差別(同和問題)		
事業(教育・啓発)対象者	教職員		
事業計画	「足利市の学校における人権教育推進の方策」の周知 被差別体験者との交流(各校5名程度 全33校対象に11回開催) 人権教育研究学校の指定(2校) 市教委主催人権教育研修会の実施 人権教育推進校指定(11校)(保護者啓発を中心にした実践。年2回の連絡協議会)の開催 人権教育に関する教科指導員の任命(3名)		
事業の 方向性	〔目標値〕	1	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	今なお、部落差別が現存している状況を十分に踏まえて、同和問題を中核に据えた学校における人権教育の充実を今後とも図っていく。	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **28**

所管課 **教育委員会 生涯学習課**

第	3	章	大	部落差別(同和問題)	中	人権を尊重する教育の推進	小	社会教育の充実
人権問題の分野				部落差別(同和問題)				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	部落差別(同和問題)	その他の人権課題
事業(教育・啓発)対象者	市民等	社会教育関係職員
実施事業	社会人権教育啓発事業(4公民館9事業、延べ参加者数365名)	
成果課題	コロナ対策を取りつつ、啓発事業指定4公民館において実施できる内容のものを実施。	
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	部落差別(同和問題)	その他の人権課題
事業(教育・啓発)対象者	市民等	社会教育関係職員
事業計画	内容や方法の工夫を意識しつつ、できるだけ多くの地域住民が同和問題などの人権問題を考える機会を得られるよう、実施していく。	
事業の方向性	〔目標値〕	2
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため
		【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **29**

所管課 **健康福祉部 保育課**

第	3	章	大	部落差別(同和問題)	中	人権を尊重する教育の推進	小	幼稚園、保育所(園)、認定こども園等での充実
人権問題の分野				部落差別(同和問題)				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	市職員等	
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の発達段階を踏まえ、教育・保育内容の充実を図る。 ・保護者と信頼関係を深め、家庭との連携を図り、教育・保育内容を共有する。 ・異年齢交流事業や世代間交流事業等を通し、子どもたちが多様な人々と関わり、他者を受け入れる気持ちを育てる。 ・保育従事者に対する人権教育や研修体制の充実を図る。 		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修を継続的に実施してきたことで、保育従事者の意識の向上が図られているが、今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止とした。 ・日々の保育の中で、保育士等の働きかけにより、他人の存在に気づき相手を尊重する気持ちが育っている。 ・あらゆる場を通じて人権問題について正しい理解と認識を深めると同時にさまざまな差別を見抜く力や感性を養うことに努め、子どもたちとともに保護者への適切な支援が必要である。 		
達成率〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	市職員等	
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の発達段階を踏まえ、教育・保育内容の充実を図る。 ・保護者と信頼関係を深め、家庭との連携を図り、教育・保育内容を共有する。 ・異年齢交流事業や世代間交流事業等を通し、子どもたちが多様な人々と関わり、他者を受け入れる気持ちを育てる。 ・保育従事者に対する人権教育や研修体制の充実を図る。 		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **30**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課 隣保館

第	3	章	大	部落差別(同和問題)	中	市民意識の啓発推進	小	啓発活動の充実
人権問題の分野				部落差別(同和問題)				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	部落差別(同和問題)		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	<p>社会には様々な人権問題が存在し、人権侵害が起きている実態を認識することが大切である。特に部落差別(同和問題)をはじめとする人権問題の正しい知識と理解を深めるため、啓発・広報活動として、次の事業を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○こども人権講座(7月)、人権セミナー(9月)、人権講演会(2月)の開催 ○隣保館運営審議会委員向けの人権問題(マジョリティとマイノリティ・マイクロアグレッション)に関する研修(7月・2月) ○会館定期利用団体代表者懇談会における人権問題(マイクロアグレッション)に関する研修(2月) ○会館のPR及び啓発チラシの配布 ○会館だよりの発行(年4回)による啓発 ○市ホームページの掲載 		
成果課題	<p>継続的な取り組みをしているものの、人権問題全体の中で特に市民の理解や認識が薄れつつある部落差別(同和問題)をテーマとした人権セミナーを実施した。より多様な講師の選択が可能となるよう、対面とオンラインを併用する等、開催方式の研究を続けたい。</p>		
達成率〔評価値〕	A	<p>【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価</p> <p>A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%</p>	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	部落差別(同和問題)		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	<p>こども人権講座(8月)、人権セミナー(9月)、ミニ人権展(10月)、人権講演会(2月)、広報誌への掲載(随時)、会館定期利用団体懇談会(2月)、会館のPR及び啓発チラシの配布、「地域福祉会館だよりの」を山前地域対象に配布(年4回)</p>		
事業の方向性	〔目標値〕	1	<p>【次の中から1つ選んでください】</p> <p>1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合</p> <p>5 : 縮小 6 : その他</p>
	〔理由〕	<p>人権講演会等をはじめとする各種事業等、様々な機会をとらえて啓発・広報活動を充実させる。</p>	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **31**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	3	章	大	部落差別(同和問題)	中	市民意識の啓発推進	小	人権の擁護
人権問題の分野				部落差別(同和問題)				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
実施事業	<p>人権擁護委員及び人権擁護機関、関係団体等と連携を図り、各種啓発事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特設人権相談所「人権なんでも相談」開設(毎月1回) 臨時回を含めて年14回実施 ・人権の花運動(市内4小学校への贈呈:4月~) ・「小学生人権書道コンテスト」、「人権啓発ポスターコンテスト」(9月募集、12月表彰) ・ひとtoひとのフォーラム足利2022(12月:人権週間事業) のべ432名参加 ・部落差別(同和問題)をテーマとした「人権問題講演会」を実施 ・人権推進広報紙の発行・全戸配布、人権啓発のためのクリアファイル等を催し時に配布 		
成果課題	<p>市及び人権擁護委員組織体(部会・協議会・ネットワーク協議会)や各関係団体が協働で啓発活動を実施したことにより、効果的な啓発活動を展開することができた。</p> <p>更に多くの市民に部落差別(同和問題)を始めとした様々な人権問題の啓発を行う人権擁護委員の存在を理解してもらうために、様々な場において人権擁護委員の制度や活動内容をPRして周知度の向上を図る必要がある。</p>		
達成率 〔評価値〕	B	<p>【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価</p> <p>A: 100~90% B: 89~70% C: 69~30% D: 29~1%</p>	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
事業計画	<p>前年度と同様に多くの事業を予定しており、部落差別(同和問題)をはじめとする様々な人権問題に関する事業への積極的な参加を促す。</p>		
事業の 方向性	〔目標値〕	2	<p>【次の中から1つ選んでください】</p> <p>1: 充実 2: 現状維持 3: 内容見直し 4: 統廃合</p> <p>5: 縮小 6: その他</p>
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **32**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課 隣保館

第	3	章	大	部落差別(同和問題)	中	市民意識の啓発推進	小	エセ同和行為の排除
人権問題の分野				部落差別(同和問題)				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	部落差別(同和問題)		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	部落差別(同和問題)解決のための取り組みに対するイメージを損ない、問題解決を阻害する「エセ同和行為」を排除するため、次の啓発活動を実施している。 ○市ホームページへの掲載 ○啓発パンフレットの窓口設置 ○研修、講座における周知		
成果課題	継続的な取組結果により、事象もほとんど見られないが、今後も行政機関、企業や団体と連携して啓発・排除に努める必要があると思われる。		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	部落差別(同和問題)		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	○広報活動事業 市ホームページ、広報誌への掲載(随時)、啓発パンフレットも窓口設置(随時)、研修・講座における周知(随時)		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **33**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課 隣保館

第	3	章	大	部落差別(同和問題)	中	隣保館活動の推進	小	地域住民の人権意識の高揚
人権問題の分野				部落差別(同和問題)				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	<p>社会には、部落差別(同和問題)をはじめとする様々な人権問題が存在し、人権侵害が起きている現状を認識するとともに、人権問題に対する正しい知識と理解を深めるため、次の事業を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○こども人権講座(8月)、人権セミナー(9月)、人権講演会(2月)の開催 ○隣保館運営審議会委員向けの人権研修(7月、2月) ○隣保館の新規利用団体(2月)及び学童クラブ職員向けの人権研修(5月) ○会館だよりの発行(年4回)による啓発 		
成果課題	一部中止事業もあったが、新型コロナウイルス感染症への対策を施しながら、人権啓発を行う多数の機会を確保できた。今後も継続的に地域住民の人権意識の向上に努める必要があると思われる。		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	部落差別(同和問題)		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ○啓発活動事業 学童クラブ職員との懇談会(5月) こども人権講座(8月)…小学生向け 人権セミナー(9月) ミニ人権展(10月)…山前文化祭の中での開催 人権講演会(2月)…山前・三重・三和・筑波公民館の4館と共催 定期利用団体との懇談会(2月) 地域福祉会館だよりに配布(年4回)…山前地区対象に回覧 		
事業の方向性	〔目標値〕	1	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	人権セミナーや講演会等、様々な機会をとらえて啓発活動を充実させる。	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **34**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課 隣保館

第	3	章	大	部落差別(同和問題)	中	隣保館活動の推進	小	地域社会に密着した相談事業の推進
人権問題の分野				部落差別(同和問題)				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	地域住民の理解と信頼のもとに、地域社会の中で様々な相談を実施する。 ○各種相談事業及び訪問活動の実施		
成果課題	多種多様な相談が多く、困難な事例もあるため、関係部署、関係機関との連携が必要である。		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	○各種相談事業及び訪問活動の実施 窓口相談(随時)・訪問相談(随時)		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **35**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課 隣保館

第	3	章	大	部落差別(同和問題)	中	隣保館活動の推進	小	関係行政機関、団体等との有機的連携の推進
人権問題の分野				部落差別(同和問題)				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	地域住民の自立支援を基本に、生活の安定と福祉の向上を図るため、関係行政機関、各種団体、ボランティアなどと連携し、長期的かつ継続的な活動を実施する。 ポールウォーキング大会(11月) 健康・福祉講座(12月) 定期利用団体代表者懇談会に人権問題(マイクロアグレッション)の研修(2月)		
成果課題	地域住民の健康増進及び福祉の向上を図るため、今後も継続して講座を実施する必要がある。		
達成率〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A: 100~90% B: 89~70% C: 69~30% D: 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	○社会福祉、健康増進事業の実施 エクササイズ教室(10月) 健康・福祉講座(11月) 山前歴史散策ウォーク(3月)		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1: 充実 2: 現状維持 3: 内容見直し 4: 統廃合 5: 縮小 6: その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **36**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課 隣保館

第	3	章	大	部落差別(同和問題)	中	隣保館活動の推進	小	住民交流・施設利用・情報提供の促進
人権問題の分野				部落差別(同和問題)				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	地域住民の拠点となるコミュニティセンターとして、住民交流事業や施設利用の促進を図るため、次の事業を実施した。 ○地域交流促進事業の実施…お話し会(年10回)、ジュニア卓球教室(6月5回)及びこども人権講座(8月)の開催 ○施設利用・情報提供の促進…会館定期利用団体代表者懇談会(2月)の際に人権研修を実施		
成果課題	こども向け事業に関しては、友達同士で誘い合い参加している状況が見受けられ、リピータも多い。募集方法等を工夫したい。		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	○地域交流促進事業の実施 お話し会(8月・2月を除く毎月1回) ジュニア卓球教室(6月連続5回) こども人権講座(8月) ○会館定期利用団体代表者懇談会(2月)		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **37**

所管課 **産業観光部 商業にぎわい課**

第	3	章	大	部落差別(同和問題)	中	企業等の啓発促進	小	啓発・研修活動の支援
人権問題の分野				部落差別(同和問題)				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	職場における人権教育・啓発に関する自主的取組が推進されるよう支援するため、人権啓発パンフレットを作成し、配布した。		
成果課題	採用、昇進等において出身地等による差別をしない人権に配慮した体制づくりを企業に周知していくことが重要であり、今後も継続的な啓発が必要である。		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	前年度と同様、人権啓発、労働問題の解決に寄与するため、啓発パンフレットの作成・配布を実施する。		
事業の 方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **38**

所管課 産業観光部 商業にぎわい課

第	3	章	大	部落差別(同和問題)	中	企業等の啓発促進	小	就労相談の充実
人権問題の分野				部落差別(同和問題)				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	賃金、労働条件、労務管理等労使双方からの相談に応じるため、社会保険労務士による相談を、毎月1回開催した。		
成果課題	各種労働問題等に関する専門的な相談に応じた。		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	前年度と同様、関係機関と連携を図り、労働問題の解決に寄与するため相談会を実施する。		
事業の 方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **39**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	3	章	大	女性の人権問題	中	男女(だれも)が対等なパートナーとして尊重し合い参画できるまちづくり	小	男女の人権を認め合う意識の高揚
人権問題の分野				女性				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> 子ども向け啓発冊子の配付(4月) 男女共同参画週間事業(表彰式・講演会)の開催(6月) ひとtoひとのフォーラム足利2022の開催(12月) 男女共同参画推進条例、男女共同参画基本計画の周知(12月) 男女共同参画セミナーによる啓発(6月~10月) 男女共同参画情報紙「かけはし」の発行(翌年4月) ホームページによる情報提供 情報コーナーの充実 		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> 冊子の配布や情報紙「かけはし」の発行等により広く啓発した。また、男女共同参画週間事業やひとtoひとのフォーラムを、女性団体連絡協議会や市民で組織する実行委員会と開催し、効果的な啓発ができた。 性別による固定的な役割分担意識は依然として存在しているので、今後も積極的に啓発活動をしていく必要がある。 		
達成率〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A: 100~90% B: 89~70% C: 69~30% D: 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 子ども向け啓発冊子の配布(6月) 男女共同参画週間事業の開催(6月) 男女共同参画推進条例、男女共同参画基本計画の周知(6月) ひとtoひとのフォーラム足利2023の開催(12月) 情報紙「かけはし」の発行(翌年4月) 男女共同参画セミナーによる啓発 ホームページによる情報提供 情報コーナーの充実 不適切な情報についての啓発 		
事業の方向性	〔目標値〕	1	【次の中から1つ選んでください】 1: 充実 2: 現状維持 3: 内容見直し 4: 統廃合 5: 縮小 6: その他
	〔理由〕	男女共同参画社会の実現のために、継続的な啓発の積み重ねが必要なため。	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **40**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	3	章	大	女性の人権問題	中	男女(だれも)が対等なパートナーとして尊重し合い参画できるまちづくり	小	男女平等観に立った教育の推進
人権問題の分野				女性				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> 子ども向け啓発冊子の配付(4月) 男女共同参画週間事業(表彰式・講演会)の開催(6月) ひとtoひとのフォーラム足利2022の開催(12月) 男女共同参画推進条例、男女共同参画基本計画の周知(12月) 男女共同参画セミナーによる啓発(6月~10月) 男女共同参画情報紙「かけはし」の発行(翌年4月) ホームページによる情報提供 情報コーナーの充実 		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> 冊子の配布や情報紙「かけはし」の発行等により広く啓発した。また、ひとtoひとのフォーラムを、女性団体連絡協議会や市民で組織する実行委員会と開催し、効果的な啓発ができた。 性別による固定的な役割分担意識は依然として存在しているので、今後も積極的に啓発活動をしていく必要がある。 		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 子ども向け啓発冊子の配布(6月) 男女共同参画週間事業の開催(6月) 男女共同参画推進条例、男女共同参画基本計画の周知(6月) ひとtoひとのフォーラム足利2023の開催(12月) 情報紙「かけはし」の発行(翌年4月) 男女共同参画セミナーによる啓発 ホームページによる情報提供 情報コーナーの充実 不適切な情報についての啓発 		
事業の方向性	〔目標値〕	1	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	男女共同参画社会の実現のためには、継続的な啓発の積み重ねが必要なため。	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **41**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	3	章	大	女性の人権問題	中	男女(だれも)が対等なパートナーとして尊重し合い参画できるまちづくり	小	政策・方針決定の場への女性の参画の促進
人権問題の分野				女性				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センターの機能の充実 ・女性団体連絡協議会の育成・支援 ・各種審議会等委員への女性の登用 ・人材の発掘・育成とリストの整備・活用 		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・女性団体連絡協議会の各種事業への支援をすることにより、組織の活性化が図れた。 ・政策・方針決定の場への女性参画は増えてきているものの十分とはいえないので、今後も積極的に働きかけていく必要がある。 		
達成率〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センターの機能の充実 ・女性団体連絡協議会の育成・支援 ・各種審議会等委員への女性の登用 ・人材の発掘・育成とリストの整備・活用 		
事業の方向性	〔目標値〕	1	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	女性の人材発掘及び活用を積極的に進めていきたい。	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **42**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	3	章	大	女性の人権問題	中	ワーク・ライフ・バランスで多様な生き方が選択可能なまちづくり	小	働く場における男女平等の推進
人権問題の分野				女性				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・職業講座の開設（5月～8月） ・再就職に関する情報の提供 ・相談体制の充実 		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・職業講座等で得た知識や技術は、それぞれの職場で活かされていると思われる。 ・出産・育児を機に離職する女性は多く、職場での男女の不平等も依然として残っているので、今後も積極的に啓発活動をしていく必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、実施できない事業があった。 		
達成率〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100～90% B : 89～70% C : 69～30% D : 29～1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・職業講座の開設（5月～未定） ・再就職に関する情報の提供 ・相談体制の充実 		
事業の方向性	〔目標値〕	1	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	今後も積極的に実施していく必要がある。	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **43**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	3	章	大	女性の人権問題	中	ワーク・ライフ・バランスで多様な生き方が選択可能なまちづくり	小	家庭・地域における男女共同参画の促進
人権問題の分野				女性				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画セミナーの開設(6月~10月) ・生活技術講座(6月~翌年3月) ・家族ふれあい講座(7月~9月) ・趣味教養講座の開設(6月~9月) ・指導者の育成、地域推進員の活動支援 		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画セミナーで得た知識や技術は、家庭において活かされていると思われる。 ・家事、育児、介護等の家庭生活は女性が担っているという現状があるので、今後も積極的に啓発活動をしていく必要がある。 		
達成率〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・家族ふれあい講座の開設(6月~12月) ・趣味教養講座の開設(9月~12月) ・男女共同参画セミナーの開設(8月~10月) ・生活技術講座の開設(6月~12月) ・指導者の育成、地域推進員の活動支援 		
事業の方向性	〔目標値〕	1	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	今後も積極的に実施していく必要がある。	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **44**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	3	章	大	女性の人権問題	中	ワーク・ライフ・バランスで多様な生き方が選択可能なまちづくり	小	仕事やその他の活動の両立を可能にする環境の整備
人権問題の分野				女性				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	仕事やその他の活動の両立を可能にする環境の整備のための、各課の施策事業を把握し、検証した。		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画社会の形成に関する施策事業の内容の把握・検証ができ、審議会等に報告できた。 調査の結果、概ね目標は達成できたが、引き続き着実な施策の実施が必要である。 		
達成率〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	仕事やその他の活動の両立を可能にする環境の整備のための、各課の施策事業の把握・検証をする。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **45**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	3	章	大	女性の人権問題	中	男女(だれも)が健康に暮らせる安心・安全なまちづくり	小	生涯を通じた男女の健康支援
人権問題の分野				女性				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	生涯を通じた男女の健康支援のための、各課の施策事業を把握し、検証した。		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画社会の形成に関する施策事業の内容の把握・検証ができ、審議会等に報告できた。 ・ 調査の結果、概ね目標は達成できたが、引き続き着実な施策の実施が必要である。 		
達成率〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	生涯を通じた男女の健康支援のための、各課の施策事業の把握・検証をする。		
事業の方向性	〔目標値〕	1	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため。	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **46**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	3	章	大	女性の人権問題	中	男女(だれも)が健康に暮らせる安心・安全なまちづくり	小	誰もが安心して暮らせる環境の整備
人権問題の分野				女性				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	誰もが安心して暮らせる環境の整備のための、各課の施策事業を把握し、検証した。		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画社会の形成に関する施策事業の内容の把握・検証ができ、審議会等に報告できた。 ・調査の結果、概ね目標は達成できたが、引き続き着実な施策の実施が必要である。 		
達成率〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	誰もが安心して暮らせる環境の整備のための、各課の施策事業の把握・検証をする。		
事業の方向性	〔目標値〕	1	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	令和3年度から施策の取捨選択、新規施策を盛り込んだ第4期計画をスタート。	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **47**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	3	章	大	女性の人権問題	中	DV(配偶者等からの暴力)の根絶と被害者を守るまちづくり	小	暴力を許さない社会づくり
人権問題の分野				女性				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会等における意識啓発(女性相談パンフレットの配布)(6月) ・女性に対する暴力をなくす運動週間等における意識啓発チラシ・ポスターの掲示(通年) 		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の生き方何でも相談やDV相談連絡先を記載した啓発物品を配架し、啓発した。 ・男女間の暴力を許さない意識の醸成を図るため、今後も積極的に実施していく必要がある。 ・コロナ禍で安全に啓発できる体制を構築することが課題。 		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A: 100~90% B: 89~70% C: 69~30% D: 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・女性に対する暴力をなくす運動週間等における意識啓発(11月) ・講演会等における意識啓発(パンフレット配布)(6月・12月) ・ハラスメント防止等の啓発(通年) 		
事業の方向性	〔目標値〕	1	【次の中から1つ選んでください】 1: 充実 2: 現状維持 3: 内容見直し 4: 統廃合 5: 縮小 6: その他
	〔理由〕	DVは全国的に増加傾向にあり、ハラスメント被害の報道等も増えてきている。そのため、そうした事案を防止啓発するため。	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **48**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	3	章	大	女性の人権問題	中	DV(配偶者等からの暴力)の根絶と被害者を守るまちづくり	小	被害者の相談・支援体制の充実
人権問題の分野				女性				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・女性のための相談体制の充実 ・相談員の資質の向上 ・法律相談の案内 ・DV被害者相談シートの作成 ・相談窓口と関係課の連携 		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・女性のための何でも相談において、関係課との支援体制を整えていた。 ・女性が抱える多種多様な悩みに対応するため、今後も積極的に実施していく必要がある。 		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・女性のための相談体制の充実 ・相談員の資質の向上 ・法律相談の案内 ・DV被害者相談シートの作成 ・相談窓口と関係課の連携 		
事業の方向性	〔目標値〕	1	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	今後も積極的に実施していく必要がある。	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **49**

所管課 **健康福祉部 こども家庭政策課**

第	3	章	大	女性の人権問題	中	DV(配偶者等からの暴力)の根絶と被害者を守るまちづくり	小	被害者の相談・支援体制の充実
人権問題の分野				女性				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	婦人相談員によるDV・婦人相談		
成果課題	DV等に悩んでいる女性の生活と精神的安定を図ることができた。 地域への自立と生活安定までの継続した相談・支援を行った。 関係機関への情報提供・連携で切れ目のない迅速な支援へ繋げることができた。 ・DV相談受付人数：74人 ・DV相談延相談回数：450回		
達成率〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A：100～90% B：89～70% C：69～30% D：29～1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	・婦人相談員を配置し、DVや婦人問題等に悩む女性のための相談に応じ、適切な指導及び助言等の支援を行う。 ・必要に応じて関係機関と連携し、相談者が自ら問題を解決できるよう丁寧な支援を行う。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1：充実 2：現状維持 3：内容見直し 4：統廃合 5：縮小 6：その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **50**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	3	章	大	女性の人権問題	中	DV(配偶者等からの暴力)の根絶と被害者を守るまちづくり	小	関係機関・団体等との連携
人権問題の分野				女性				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	関係機関・団体等との連携のための、各課の施策事業を把握し、検証した。		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画社会の形成に関する施策事業の内容の把握・検証ができ、審議会等に報告できた。 ・調査の結果、概ね目標は達成できたが、引き続き着実な施策の実施が必要である。 		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	関係機関・団体等との連携のための、各課の施策事業の把握・検証をする。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **51**

所管課 **健康福祉部 こども家庭政策課**

第	3	章	大	女性の人権問題	中	DV(配偶者等からの暴力)の根絶と被害者を守るまちづくり	小	関係機関・団体等との連携
人権問題の分野				女性				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	福祉関係者	その他	
実施事業	<p>DV被害で緊急性の高い事案の場合に、警察や県男女共同参画センターなどと連携し、一時保護施設への入所など、早急に加害者から避難できるよう支援を行った。</p> <p>また、避難後の相談者の自立生活に向け、母子生活支援施設へ入所した場合の訪問や、関係機関と連携しながら支援を行った。</p>		
成果課題	警察、県男女共同参画センターと連携をとり、相談者のニーズに応じた支援体制を整えることができた。		
達成率〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	女性		
事業(教育・啓発)対象者	福祉関係者	その他	
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> DV被害で緊急性の高い事案の場合については、警察や県男女共同参画センターなどと連携し、一時保護施設への入所など、早急に加害者から避難できるよう支援する。 避難後には、関係機関と連携をとり、相談者の意思決定を尊重しながら自立生活に向けた相談支援を行う。 DV問題の啓発を図るとともに、相談窓口の周知を進める。 		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **52**

所管課 健康福祉部 こども家庭政策課

第	3	章	大	子どもの人権問題	中	子どもの人権を尊重する教育・啓発の推進	小	「こどものための条例」の制定
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	足利市のこども施策に関する計画である、第2期足利市子ども・子育て支援事業計画の基本理念及び基本的な視点に子どもの権利条約の理念を盛り込んだ。		
成果課題	令和2年3月に制定した第2期足利市子ども・子育て支援事業計画の基本理念及び基本的な視点に子どもの権利条約の理念を盛り込んだことで、計画の理念として市民等への周知を図ることができた。 令和5年4月1日にこどもの権利条約の精神にのっとり基本理念を定めた「こども基本法」が施行されるなど、近年こども施策に関する基本理念やその具現化のための措置などが明確化されつつある。これらを踏まえて条例のあり方について研究する必要がある。		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	すでに条例を制定している自治体の実態について調査し、条例制定による効果や課題について把握し、こども基本法や市の総合計画との関連も考慮したうえで、足利市にふさわしい「こどものための条例」について研究する。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **53**

所管課 教育委員会 学校教育課

第	3	章	大	子どもの人権問題	中	子どもの人権を尊重する教育・啓発の推進	小	「こどものための条例」の制定
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員		
実施事業	各教科・領域等での学習指導の充実 人権教育研究学校の実践研究(2校) 市教委主催人権教育研修会の実施(授業参観、研究報告会)		
成果課題	人権教育研究学校の実践研究(2校)、市教委主催人権教育研修会(7月実施)を通して、教師が目の前の児童生徒を丁寧に見つめ把握し、かかわることで信頼関係づくりを進める大切さを学んでいる。教師のより細やかな児童生徒の把握と、個に応じた指導、わかる授業の展開を一層進める必要がある。		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A: 100~90% B: 89~70% C: 69~30% D: 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員		
事業計画	各教科・領域等での学習指導の充実 人権教育研究学校の実践研究(2校) 市教委主催人権教育研修会の実施 人権教育推進校指定(11校) (保護者啓発を中心にした実践。年2回の連絡協議会)の開催		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1: 充実 2: 現状維持 3: 内容見直し 4: 統廃合 5: 縮小 6: その他
	〔理由〕	子どもたち一人一人に自らをかけたがない存在と気づかせ、人権にかかわる様々な問題を乗り越えられる力を育成するために、教職員の研修を継続して実施することが必要であるため。	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **54**

所管課 **健康福祉部 保育課**

第	3	章	大	子どもの人権問題	中	子どもの人権を尊重する教育・啓発の推進	小	子どもの個性を大切にする教育の推進
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	市職員等	
実施事業	・子ども一人一人の人格が尊重され集団の中でこそ、その能力や個性を発揮できる教育を推進し、自己肯定感を高めていく。		
成果課題	・身近な人との信頼関係を基盤に、自分の力で行動する充実感を味わい、自己肯定感が育まれている。 ・引き続き、保育従事者の意識の向上に努め、子どもたちへの適切な支援が必要である。		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	市職員等	
事業計画	・子ども一人一人の人格が尊重され集団の中でこそ、その能力や個性を発揮できる教育を推進し、自己肯定感を高めていく。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **55**

所管課 **教育委員会 学校教育課**

第	3	章	大	子どもの人権問題	中	子どもの人権を尊重する教育・啓発の推進	小	子どもの個性を大切にする教育の推進
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員		
実施事業	「足利市の学校における人権教育推進の方策」の周知 各教科・領域等での学習指導の充実 人権教育研究学校の実践研究（2校） 市教委主催人権教育研修会の実施 教職員向け選択研修の開催（「教師論・教育論」「特別支援教育研修会」「教育相談研修会」）		
成果課題	・各小中学校において、教師の子どもを見る眼を養うために、足利市の学校における人権教育推進の方策の「チェックポイント」の自校化がなされている。 ・児童生徒一人一人の不安や悩みを把握することに努め、それを話せる場や手立ての確保がなされてきた。 ・一人一人多様な子どもたちのニーズにきめ細かく対応するために、学校全体での共通理解と指導態勢を充実させる必要がある。		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員		
事業計画	「足利市の学校における人権教育推進の方策」の周知 各教科・領域等での学習指導の充実 人権教育研究学校の実践研究（2校） 市教委主催人権教育研修会の実施 教職員向け選択研修の開催（「教師論・教育論」「特別支援教育研修会」「教育相談研修会」）		
事業の方向性	〔目標値〕	1	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	一人一人の児童生徒に、自らのかけがえのなさを実感をともなって認識させ、不安や悩み（差別）を自分で乗り越えられる力をつけさせるために、一層の指導の充実を図る。	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **56**

所管課 教育委員会 学校教育課

第	3	章	大	子どもの人権問題	中	子どもの人権を尊重する教育・啓発の推進	小	いじめや暴力行為等の防止対策の取組
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員		
実施事業	学校教育指導計画に児童生徒指導の充実を位置付け、問題行動等の未然防止、組織対応について周知 青少年センターとの共催により、中学校生徒指導連絡会議（年18回） 小中合同児童生徒指導連絡会議（年3回） いじめ調査の実施（年2回） いじめ問題対策連絡協議会の開催（年2回）		
成果課題	・日常の教育活動での指導や調査により、いじめを含む問題行動等の早期発見・早期対応につながる関わりをしている。 ・研修により子どもを見つめる眼がきめ細かくなり、子どもの不安や悩みを丁寧に把握し対応しようとしている。 ・いじめを含む問題行動等の未然防止、早期発見、早期対応において、学校の全教職員で組織で対応するとともに、関係機関との連携をより一層充実させていく。		
達成率〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員		
事業計画	学校教育指導計画に児童生徒指導の充実を位置付け、「足利市いじめ防止基本方針」のもと、いじめを含む問題行動等の未然防止、早期発見、早期に組織的対応について周知徹底 青少年センターとの共催により、中学校生徒指導連絡会議（年18回） 小中合同児童生徒指導連絡会議（年3回）を開催 いじめ調査の実施（年2回） いじめ問題対策連絡協議会の開催（年2回）		
事業の方向性	〔目標値〕	1	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	足利市の小中学校においては、人権教育を学校教育改善の重要にして具体的な視点として捉え、教師が見えないものを見ていこうと努力し、実践を積んでいるため、今後とも積極的に充実を図っていく。	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **57**

所管課 **教育委員会 学校教育課**

第	3	章	大	子どもの人権問題	中	子どもの人権を尊重する教育・啓発の推進	小	教職員の研修等の充実
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員		
実施事業	市教委主催人権教育研修会の実施（市内全小中学校の参加） 人権教育推進校指定（11校） （保護者啓発を中心にした実践。年2回の連絡協議会）の開催 教職員向け選択研修の開催（「教師論・教育論」「学習指導研修会」「特別支援教育研修会」「教育相談研修会」「メディアリテラシー研修会」）		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> 全教育活動を通じて、児童生徒一人一人に着眼し、具体的ななかかわりを通して様々な不安や悩みを把握し、教師と児童生徒、保護者の三者で語り合う関係づくりを目指している。 個別の人権課題についても研修を深める必要がある。 		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員		
事業計画	市教委主催人権教育研修会の実施（市内全小中学校の参加） 人権教育推進校指定（11校） （保護者啓発を中心にした実践。年2回の連絡協議会）の開催 教職員向け選択研修の開催（「教師論・教育論」「学習指導研修会」「特別支援教育研修会」「教育相談研修会」「メディアリテラシー研修会」）		
事業の 方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	教師が児童生徒一人一人に着眼し、具体的ななかかわりを通して様々な不安や悩みを把握し、教師と児童生徒、保護者の三者で語り合う関係づくりを目指すために、継続的に実施することが必要であるため。	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **58**

所管課 **教育委員会 学校教育課**

第	3	章	大	子どもの人権問題	中	子どもの人権を尊重する教育・啓発の推進	小	教育相談体制の充実
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	市民等	
実施事業	教職員の資質向上のための市教委主催研修会の実施（「教師論・教育論」「特別支援教育研修会」） 児童生徒相談員（93名）の配置 いじめストップアドバイザー（1名）スーパーバイザー（2名）の派遣事業 学校・家庭教育相談室での電話相談、来所相談の実施		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> 各研修会により、子どもの不安や悩みをよりきめ細かく把握し、子どもの気持ちを感じとれるようになろうとする意識が高まってきている。 組織的に児童生徒、保護者の悩みや不安に対応する相談体制づくりが図られてきた。 子供たちの事実から、目に見えない背景まで見ようとする意識がさらに必要である。 		
達成率〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員		
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の資質向上のための市教委主催研修会の実施（「教師論・教育論」「教育相談研修会」「特別支援教育研修会」） 児童生徒相談員（93名）の配置 いじめストップアドバイザー（2名）スーパーバイザー（2名）の派遣事業 学校・家庭教育相談室での電話相談、来所相談の実施 		
事業の方向性	〔目標値〕	1	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	教師と児童生徒及び児童生徒相互の人間関係を深めることを基盤に据え、児童生徒の内面に根ざした道徳性の育成を図る必要があるため。	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **59**

所管課 **健康福祉部 こども家庭政策課**

第	3	章	大	子どもの人権問題	中	子育て環境づくりの推進	小	市民意識の醸成
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	教職員	福祉関係者
実施事業	○子育て支援特別講演会		
成果課題	要保護児童対策地域協議会において、市民向けの講演会は実施せず、支援者向けの研修会を充実させることになったため、実施しなかった。		
達成率 〔評価値〕	D	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	教職員	福祉関係者
事業計画	なし		
事業の 方向性	〔目標値〕	6	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	要保護児童対策地域協議会において市民向け講演会は実施せず、支援者向けの研修会を充実させることとなった。	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **60**

所管課 **健康福祉部 保育課**

第	3	章	大	子どもの人権問題	中	子育て環境づくりの推進	小	市民意識の醸成
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	市職員等	市民等
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園、認定こども園、保育所（園）において、異年齢交流、世代間交流など地域を巻き込んだ行事を実施し、連携を図る。 ・ 子育て支援に関する地域の人材と積極的に連携を図り、地域社会全体で子育て支援の充実を図る。 		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園、認定こども園、保育所（園）において、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら、行事等が再開された。できる範囲の中で、家庭や地域と積極的なかわりが持てるよう努力し、連携を図ることができた。 ・ 引き続き、地域社会全体での子育て支援の充実に努める。 		
達成率〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	市職員等	市民等
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園、認定こども園、保育所（園）において、異年齢交流、世代間交流など地域を巻き込んだ行事を実施し、連携を図る。 ・ 子育て支援に関する地域の人材と積極的に連携を図り、地域社会全体で子育て支援の充実を図る。 		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **61**

所管課 **健康福祉部 こども家庭政策課**

第	3	章	大	子どもの人権問題	中	子育て環境づくりの推進	小	子育てと家庭に関する相談の充実
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	家庭相談員による家庭児童相談		
成果課題	電話、来所、訪問など、相談者の状況に応じ、相談者の不安や悩みをやわらげ、家庭での児童の養育の安定、親子関係の改善につながった。 ・相談受付件数：220件 ・延相談回数：7,011回		
達成率〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	家庭相談員による家庭児童相談		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **62**

所管課 **健康福祉部 保育課**

第	3	章	大	子どもの人権問題	中	子育て環境づくりの推進	小	子育てと家庭に関する相談の充実
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	市職員等	その他
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園、認定こども園、保育所（園）、子育て支援センター等で、子育て相談や子育てに関する情報の発信を行う。また、親子の交流の場の提供も行き、子育て支援の充実を図る。 		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ さいこう子育て支援センターに子育て支援コーディネーター（保健師）を配置し、保護者のニーズに合った適切な支援、情報提供を行うことができた。 ・ 支援センターを利用する方だけでなく、誰にも相談できず交流がない保護者に対しても、悩みを引き出し、適切な支援を行っていくことが必要である。 		
達成率〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	市職員等	その他
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園、認定こども園、保育所（園）、子育て支援センター等で、子育て相談や子育てに関する情報の発信を行う。また、親子の交流の場の提供も行き、子育て支援の充実を図る。 		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **63**

所管課 **健康福祉部 こども家庭政策課**

第	3	章	大	子どもの人権問題	中	子育て環境づくりの推進	小	子どもの健全育成の推進
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	子ども達が自ら考えて「遊び」を作り出す「冒険の遊び場」を運営実施する市民団体への支援を通して、「市民力」の向上を図るとともに、自然の中でお互いの人格を尊重し、協力しあって活動することで、子どもの社会性や人権意識の向上を図っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響のため前年同様に市民団体が事業を実施できなかった。		
成果課題	実施不可。		
達成率 〔評価値〕	D	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	事業再開の見込みなし。		
事業の 方向性	〔目標値〕	6	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	再開の見込みなし。	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **64**

所管課 **健康福祉部 保育課**

第	3	章	大	子どもの人権問題	中	子育て環境づくりの推進	小	子どもの健全育成の推進
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	その他		
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門学校生のボランティアやインターンシップ生の保育実習等の受け入れをし、様々な体験の場を提供することで、人権尊重の精神と社会の一員としての自覚を育てる。 		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症により、ボランティアやインターンシップ生の受け入れを控えた。 ・ 乳幼児に接し、「一人一人を大切に作る保育」を体験することで、人権尊重の精神が育まれている。 		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	その他		
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門学校生のボランティアやインターンシップ生の保育実習等を積極的に受け入れ、様々な体験の場を提供することで、人権尊重の精神と社会の一員としての自覚を育てる。 		
事業の 方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **65**

所管課 **教育委員会 生涯学習課 青少年センター**

第	3	章	大	子どもの人権問題	中	子育て環境づくりの推進	小	子どもの健全育成の推進
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	<p>子どもたちが、育成会活動等を通じ、弱者や他人を思いやる心、不安や困難に耐える力を養うようにする。また、考え方や性格、年齢、職業など異なる人々と接することにより、物事に対する柔軟な考え方や態度を身に付けるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 育成者養成講習会 6月14日(火)、6月28日(火) 計2回開催 ○ 子どもリーダーチャレンジ 8月1泊2日で予定 ⇒新型コロナウイルス感染症まん延防止の観点から実施中止。 ○ 中学生地区活動ボランティアクラブ員研修会 11月20日(日)に開催 		
成果課題	<p>○ 育成者養成講習会では、子どもたちに接する育成会役員を対象に、行事に際しての安全を意識した人権啓発を講習できた。</p> <p>○ 中学生地区ボランティアクラブ員研修会では、参加した中学生のレクリエーション活動を通じたお互いを尊重しあうことでの充実感を体験させることができた。</p> <p>○ 子どもリーダーチャレンジが実施中止となり、参加児童への人権啓発の機会が失われたのは残念。</p>		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	<p>子どもたちが、育成会活動等を通じ、弱者や他人を思いやる心、不安や困難に耐える力を養うようにする。また、考え方や性格、年齢、職業など異なる人々と接することにより、物事に対する柔軟な考え方や態度を身に付けるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 育成者養成講習会 5月及び6月 計2回開催 ○ 子どもリーダーチャレンジ 7月に1泊2日で開催 ○ 中学生地区活動ボランティアクラブ員研修会 11月に開催 		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **66**

所管課 **教育委員会 生涯学習課 青少年センター**

第	3	章	大	子どもの人権問題	中	子育て環境づくりの推進	小	公衆に表示する情報への配慮
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における防犯活動を推進し、児童生徒等のより一層の安全確保を図るために、学校や警察署からの不審者等の情報をLINE情報受信者に配信する。 		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年2月から新CMSへの移行に伴いメール送信を廃止し、足利市LINEからの配信のみに変更した。 ・LINEの配信登録者は10,163人であり、昨年末比2,668人増となっている。 ・R4年度中、不審者情報を32件配信している。 ・LINEの情報受信者を増やしていくことが課題である。 		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における防犯活動を推進し、児童生徒等のより一層の安全確保を図るために、学校や警察署からの不審者等の情報をLINE情報受信者に配信する。 		
事業の方向性	〔目標値〕	1	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	メール配信がなくなったことに伴い、LINEの情報受信者の増に注力	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **67**

所管課 **健康福祉部 保育課**

第	3	章	大	子どもの人権問題	中	子育て環境づくりの推進	小	「人権を大切にする心を育てる保育」の推進等
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	市職員等	
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・国が定める「幼稚園教育要領」、「認定こども園教育・保育要領」、「保育所保育指針」に基づき、「人権を大切にする心を育てる保育」の推進をする。 ・家庭、地域と連携し、人間形成の基礎が培われる乳幼児期の健全育成に努める。 		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・きめ細やかな保育を行い、多様な人々と交流することで、子どもたちの他者を認め合い、一人一人を大切にする心が育っている。 ・互いに助け合う心が育っている。 ・保育従事者は、あらゆる場を通じて人権問題について正しい理解と認識を深めると同時にさまざまな差別を見抜く力や感性を養うことに努め、子どもたちへの適切な支援が必要である。 		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	市職員等	
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・国が定める「幼稚園教育要領」、「認定こども園教育・保育要領」、「保育所保育指針」に基づき、「人権を大切にする心を育てる保育」の推進をする。 ・家庭、地域と連携し、人間形成の基礎が培われる乳幼児期の健全育成に努める。 		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **68**

所管課 **健康福祉部 こども家庭政策課**

第	3	章	大	子どもの人権問題	中	児童虐待の防止対策の充実	小	要保護児童対策地域協議会の機能の充実
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	福祉関係者	教職員	福祉関係者
実施事業	○要保護児童対策地域協議会代表者・実務者会議、実務者会議ケース進行管理会議、個別ケース検討会議、緊急受理会議の実施		
成果課題	新型コロナウイルス感染防止のため、数年書面開催となった会議がある。機能充実のため、対面の開催ができるよう検討する必要がある。 ・代表者・実務者会議：1回(書面開催) ・実務者会議ケース進行管理会議：4回(1,082件) ・個別ケース検討会議：29回(184件) ・緊急受理会議：184回		
達成率〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	教職員	福祉関係者
事業計画	○要保護児童対策地域協議会代表者・実務者会議、実務者会議ケース進行管理会議、個別ケース検討会議、緊急受理会議の実施		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **69**

所管課 **健康福祉部 こども家庭政策課**

第	3	章	大	子どもの人権問題	中	児童虐待の防止対策の充実	小	児童相談所との連携強化
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	福祉関係者		
実施事業	○要保護児童対策地域協議会実務者会議ケース進行管理会議の実施及び調整担当者会議への参加		
成果課題	県南児童相談所と管理ケースについての情報共有、支援方針の検討を行い、連携強化を図った。 ・ケース進行管理会議：4回（1,082件） 市の調整担当者と県南児相との会議に出席し、課題について協議やロールプレイングを行った。 ・3回		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A：100～90% B：89～70% C：69～30% D：29～1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	福祉関係者		
事業計画	○要保護児童対策地域協議会実務者会議ケース進行管理会議の実施及び調整担当者会議への参加		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1：充実 2：現状維持 3：内容見直し 4：統廃合 5：縮小 6：その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **70**

所管課 **健康福祉部 こども家庭政策課**

第	3	章	大	子どもの人権問題	中	児童虐待の防止対策の充実	小	行政の枠組を越えた連携の推進
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	福祉関係者	その他	
実施事業	○要保護児童対策地域協議会代表者・実務者会議、実務者会議ケース進行管理会議、個別ケース検討会議、緊急受理会議の実施		
成果課題	構成メンバーである各種団体との情報共有や支援方針の検討を行った。 ・代表者・実務者会議：1回(書面開催) ・実務者会議ケース進行管理会議：4回(1,082件) ・個別ケース検討会議：29回(184件) ・緊急受理会議：184回		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A：100～90% B：89～70% C：69～30% D：29～1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	福祉関係者	その他	
事業計画	○要保護児童対策地域協議会代表者・実務者会議、実務者会議ケース進行管理会議、個別ケース検討会議、緊急受理会議の実施		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1：充実 2：現状維持 3：内容見直し 4：統廃合 5：縮小 6：その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **71**

所管課 **健康福祉部 こども家庭政策課**

第	3	章	大	子どもの人権問題	中	児童虐待の防止対策の充実	小	養育支援訪問の充実
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	要保護又は要支援児童の家庭に訪問し、養育に関する相談支援を実施		
成果課題	母子保健部局との連携により、養育に関する相談や助言を行うことで、育児に対する不安や悩みの解消と精神的安定に寄与することができた。 ・訪問家庭数：231件 ・延訪問回数：876回		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A：100～90% B：89～70% C：69～30% D：29～1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	要保護又は要支援児童の家庭に訪問し、養育に関する相談支援を実施する		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1：充実 2：現状維持 3：内容見直し 4：統廃合 5：縮小 6：その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **72**

所管課 **健康福祉部 健康増進課**

第	3	章	大	子どもの人権問題	中	児童虐待の防止対策の充実	小	養育支援訪問の充実
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	<p>【事業名】 養育支援訪問</p> <p>【目的】 妊娠届出や、乳児家庭全戸訪問、乳幼児健診受診時及び各種相談事業において把握した、養育が困難な家庭や乳幼児健診未受診児の家庭等に対し、保健師等による継続した支援を実施する。</p> <p>【実施結果】 養育支援訪問延べ訪問人数：933人</p>		
成果課題	保健師等の継続した訪問から、ケース対応会議や要保護児童対策地域協議会の個別ケース検討会議に繋ぎ、関係機関と連携した支援が実施できた。		
達成率 〔評価値〕	A	<p>【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価</p> <p>A：100～90% B：89～70% C：69～30% D：29～1%</p>	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	<p>【事業名】 養育支援訪問</p> <p>【目的】 妊娠届出や、乳児家庭全戸訪問、乳幼児健診受診時及び各種相談事業において把握した、養育が困難な家庭や乳幼児健診未受診児の家庭等に対し、保健師等による継続した支援を実施する。</p> <p>【事業計画】 関係機関と連携した早期の支援により、虐待予防対策を推進する。</p>		
事業の 方向性	〔目標値〕	2	<p>【次の中から1つ選んでください】</p> <p>1：充実 2：現状維持 3：内容見直し 4：統廃合 5：縮小 6：その他</p>
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **73**

所管課 **健康福祉部 こども家庭政策課**

第	3	章	大	子どもの人権問題	中	児童虐待の防止対策の充実	小	広報・啓発活動の推進
人権問題の分野				子ども				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	教職員	福祉関係者
実施事業	○児童虐待防止啓発リーフレットの作成と配布を実施		
成果課題	3,000部を作成し、保育所、幼稚園、認定こども園、小中学校、民生委員児童委員、主任児童委員、医療機関、障害児通所支援事業等に配布し、児童虐待防止の啓発を行った。		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	教職員	福祉関係者
事業計画	○児童虐待防止啓発リーフレットの作成と配布を実施する		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **74**

所管課 **健康福祉部 元気高齢課**

第	3	章	大	高齢者の人権問題	中	高齢社会に対する教育とひとづくり	小	
人権問題の分野				高齢者				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	高齢者		
事業(教育・啓発)対象者	福祉関係者		
実施事業	<p>高齢社会に対する教育とひとづくりを進めるため、次の事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○権利擁護事業(高齢者虐待防止・成年後見制度支援)：地域包括支援センターが介護支援専門員や介護サービス事業者に対し高齢者の人権を守るための啓発を行った。 ○スーパービジョン(事例検討会)：地域包括支援センターのケアマネ支援の中で、権利擁護についての啓発を行った。【6回】 		
成果課題	<p>認知症高齢者が増加する中、高齢者の人権を守るため高齢者虐待予防・成年後見制度利用を福祉関係者が理解し、地域住民と連携し普及啓発することが重要であり継続して取り組んでいきたい。</p>		
達成率 〔評価値〕	A	<p>【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価</p> <p>A：100～90% B：89～70% C：69～30% D：29～1%</p>	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	高齢者		
事業(教育・啓発)対象者	福祉関係者		
事業計画	<p>高齢社会に対する教育とひとづくりを進めるため、次の事業を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○権利擁護事業(高齢者虐待防止・成年後見制度支援)：地域包括支援センターが、介護支援専門員や介護サービス事業者に対し高齢者の人権を守るための啓発を行います。【随時開催】 ○スーパービジョン(事例検討会)：地域包括支援センターのケアマネ支援の中で、権利擁護についての啓発を行います。【隔月開催：6回】 		
事業の方向性	〔目標値〕	2	<p>【次の中から1つ選んでください】</p> <p>1：充実 2：現状維持 3：内容見直し 4：統廃合</p> <p>5：縮小 6：その他</p>
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **75**

所管課 **教育委員会 生涯学習課**

第	3	章	大	高齢者の人権問題	中	高齢社会に対する教育とひとりづくり	小	
人権問題の分野				高齢者				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	高齢者	その他の人権課題
事業(教育・啓発)対象者	市民等	
実施事業	高齢者学級における人権講座	
成果課題	市内の公民館で高齢者学級を開設し、教養、健康および地域活動など、心豊かな生活や生きがいの追求に関する学習を行っているが、人権について学ぶ回を必置としている。令和4年度は令和3年度に引き続き、コロナ感染対策を取った上で、内容、実施方法を工夫し実施した。	
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	高齢者	その他の人権課題
事業(教育・啓発)対象者	市民等	
事業計画	今後も人権について学ぶ回を分かりやすく、興味を持ちやすい充実した内容で実施していく。	
事業の方向性	〔目標値〕	2 【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **76**

所管課 **健康福祉部 元気高齢課**

第	3	章	大	高齢者の人権問題	中	社会参加活動の促進と就業 機会の拡大	小	
人権問題の分野				高齢者				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	高齢者		
事業(教育・啓発)対象者	その他		
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センター運営費補助金 ・高齢者暮らしのお手伝い事業 		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターの事業実績については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続き、会員数や契約金額が減少するなど、事業運営に大きな打撃を受け、その対策が喫緊の課題。 ・高齢者暮らしのお手伝い事業の実績については、ほぼ横ばい。 		
達成率 〔評価値〕	C	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	高齢者		
事業(教育・啓発)対象者	その他		
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センター令和5年度事業計画の新たな取組として、新聞の折り込み広告を活用し、シルバー人材センター事業を広く市民の方々にPRするなど、広報活動を強化。また、商工会議所等の各種団体との連携をより一層推進し、企業退職予定者層に狙いを絞った会員獲得のための活動と、新たな業務の獲得に向けた活動を実施。 		
事業の 方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **77**

所管課 産業観光部 商業にぎわい課

第	3	章	大	高齢者の人権問題	中	社会参加活動の促進と就業 機会の拡大	小	
人権問題の分野				高齢者				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	高齢者の能力が活かせる職場環境づくりの啓発を推進するため、人権啓発パンフレットを作成し、配布した。		
成果課題	高齢者を知識、経験、技術など豊かな能力をもつ人材としてとらえ、その能力が活かせる職場環境づくりが課題となる。今後も継続的に企業に周知していくことが必要である。		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	前年度と同様、人権啓発パンフレットを作成・配布し、高齢者の雇用について啓発していく。		
事業の 方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **78**

所管課 **健康福祉部 元気高齢課**

第	3	章	大	高齢者の人権問題	中	介護予防・自立支援と相談体制の整備	小	
人権問題の分野				高齢者				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	高齢者		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	福祉関係者	その他
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護予防の元気アップトレーニング事業及び閉じこもり防止のふれあいサロン設置補助 ○ 生き生き元気のつどい：高齢者が、年齢や心身の状況に分け隔てることなく、地域で交流し、社会参加することで閉じこもり予防・介護予防を推進【12会場：141回実施、参加延人数：1,416人】 ○ 総合相談事業：地域包括支援センターが窓口となり、住民や介護支援専門員等からの認知症高齢者の権利擁護や虐待に関する個別相談に個別に対応【882件】 ○ 高齢者暮らしのお手伝い事業による、日常生活で援助が必要な高齢者を対象とした生活の支援【延510回】 		
成果課題	年齢や心身の状況で区別されることなく介護予防に取り組み、自立支援につながっている。地域元気アップ教室の充実及び継続的な活動を推進するため、引き続き元気アップサポーターの養成に力を入れていくとともに、自治会など地元との連携を深め、高齢者が徒歩または自転車等で通える自治会館など身近な場所で行える環境を整備していきたい。		
達成率〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A：100～90% B：89～70% C：69～30% D：29～1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	高齢者		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	福祉関係者	その他
事業計画	<p>高齢者の介護予防・自立支援と相談体制の整備を進めるため、次の事業を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護予防の元気アップトレーニング事業及び生き生き元気のつどいの実施・閉じこもり防止のふれあいサロン設置補助、認知症予防に関する出前講座等の実施、地域包括支援センターによる虐待の相談等をはじめとする高齢者の総合相談 ○ 高齢者暮らしのお手伝い事業による、日常生活で援助が必要な高齢者を対象とした生活の支援 		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1：充実 2：現状維持 3：内容見直し 4：統廃合 5：縮小 6：その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **79**

所管課 **健康福祉部 元気高齢課**

第	3	章	大	高齢者の人権問題	中	介護サービスの基盤整備	小	
人権問題の分野				高齢者				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	高齢者		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	福祉関係者	
実施事業	高齢者が要介護状態になっても可能な限り住み慣れた地域で家族や近隣との触れ合いの中で生活を継続できるようにするため、必要な介護サービス基盤整備を進める。		
成果課題	第8期介護保険事業計画（令和3年～令和5年）における整備計画に基づき、広域型特別養護老人ホームの公募を行ったものの応募がなく、未選定である。		
達成率 〔評価値〕	C	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100～90% B : 89～70% C : 69～30% D : 29～1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	高齢者		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	福祉関係者	
事業計画	前年度に引き続き、高齢者が要介護状態になっても可能な限り住み慣れた地域で家族や近隣との触れ合いの中で生活を継続できるようにするため、必要な介護サービス基盤整備を進めるとともに足利市ゴールドプラン2 1（第8期計画）に基づき、各種施策を進める。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **80**

所管課 **健康福祉部 元気高齢課**

第	3	章	大	高齢者の人権問題	中	地域づくりの推進	小	
人権問題の分野				高齢者				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	高齢者		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	福祉関係者	その他
実施事業	<p>○ 地域ケア会議：医師等の専門職と民生委員等地域の方々による個別事例の検討を通じて、高齢者の自立に向けた支援と地域課題を明らかにし、人権を尊重した地域づくりを推進【23回58事例】</p> <p>○ 高齢者支援連携協力会議：地域包括支援センターが主体となり、地域団体の方や介護支援専門員の参集により、高齢者に対する地域の見守り支援等について意見交換を行い、地域づくりを推進【開催回数：47回】</p> <p>○ 高齢者見守り事業：日常生活や業務の中での見守りを通じて、地域全体で高齢者の虐待・事故・詐欺・孤立死・認知症等による行方不明等の防止及び早期発見・保護を進めていくため、行政機関をはじめ地域住民や民間事業者等と見守りに関する協定を締結【締結団体：35】</p>		
成果課題	<p>地域ケア会議や高齢者支援連携協力会議の開催、見守りに関する協定の締結団体の協力により、高齢者が在宅生活を継続するための支援の充実や、地域住民や民間事業者など多くの目による高齢者の見守り体制を確立することが出来ました。今後も引き続き、地域に根ざした高齢者のための支援・対策を進めます。</p>		
達成率〔評価値〕	B	<p>【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価</p> <p>A：100～90% B：89～70% C：69～30% D：29～1%</p>	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	高齢者		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	福祉関係者	その他
事業計画	<p>○ 地域ケア会議：医師等の専門職と民生委員等地域の方々による個別事例の検討を通じて、高齢者の自立に向けた支援と地域課題を明らかにし、人権を尊重した地域づくりを推進【開催：21回】</p> <p>○ 高齢者支援連携協力会議：地域包括支援センターが主体となり、地域団体の方や介護支援専門員の参集により、高齢者に対する地域の見守り支援等について意見交換を行い、地域づくりを推進【随時開催】</p> <p>○ 高齢者見守り事業：日常生活や業務の中での見守りを通じて、地域全体で高齢者の虐待・事故・詐欺・孤立死・認知症等による行方不明等の防止及び早期発見・保護を進めていくため、行政機関をはじめ地域住民や民間事業者等と見守りに関する協定を締結</p>		
事業の方向性	〔目標値〕	2	<p>【次の中から1つ選んでください】</p> <p>1：充実 2：現状維持 3：内容見直し 4：統廃合</p> <p>5：縮小 6：その他</p>
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **81**

所管課 **教育委員会 学校教育課**

第	3	章	大	障がい者の人権問題	中	特別支援教育の充実及び交流・ふれあいの促進	小	学校教育の充実
人権問題の分野				障がい者				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	障がい者	
事業(教育・啓発)対象者	教職員	その他
実施事業	学校教育指導計画に、特別支援教育の充実を位置付け、校内支援体制の充実について指導周知 特別支援教育コーディネーターの任命	
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> 全ての小中学校において、特別支援教育コーディネーターを任命し、校内教育支援委員会・校内研修の企画・運営、関係諸機関との連絡・調整、保護者からの相談の窓口などの役割を担った。 日常の観察等を通して、担任や特別支援コーディネーターを中心に、特別な支援が必要な児童生徒の状況や変化等に気付き、教職員間で情報共有している。 特別な支援が必要な児童生徒の状況や変化等にいち早く気付き、教職員同士で情報を共有しながら適切な支援を行うとともに、本人のよさに目を向け、本人・保護者の思いや願いに一層寄り添う必要がある。 	
達成率〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	高齢者	
事業(教育・啓発)対象者	教職員	その他
事業計画	学校教育指導計画に、特別支援教育の充実を位置付け、校内支援体制の充実について指導周知 特別支援教育コーディネーターの任命	
事業の方向性	〔目標値〕	2 【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **82**

所管課 **教育委員会 学校教育課**

第	3	章	大	障がい者の人権問題	中	特別支援教育の充実及び交流・ふれあいの促進	小	特別な支援が必要な児童生徒の教育の充実
人権問題の分野				障がい者				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	障がい者	
事業(教育・啓発)対象者	教職員	その他
実施事業	すこやか支援員の配置(小学校13名、中学校2名) 教育支援委員会の実施 個別の指導計画、個別の教育支援計画の作成・活用を働きかける。 入学支援シート、中学進学支援シート、高校進学支援シートの活用を働きかける。	
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある児童生徒に対し、学校における生活習慣確立のための日常生活上の介助を行ったことにより、安心して学校生活を送ることができている。 ・特別な教育的ニーズのある児童生徒については、個別の指導計画を作成し、その実践と評価を繰り返す等、活用に努めることができた。 ・医療、福祉、労働等の関係機関と連携して、生涯にわたる一貫した支援に努める必要がある。 	
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	高齢者	
事業(教育・啓発)対象者	教職員	その他
事業計画	すこやか支援員の配置(小学校13名、中学校2名) 教育支援委員会の実施 個別の指導計画、個別の教育支援計画の活用について働きかける。 入学支援シート、中学進学支援シート、高校進学支援シートの活用を働きかける。	
事業の方向性	〔目標値〕	2 <ul style="list-style-type: none"> 【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **83**

所管課 **教育委員会 生涯学習課**

第	3	章	大	障がい者の人権問題	中	特別支援教育の充実及び交流・ふれあいの促進	小	社会教育の充実
人権問題の分野				障がい者				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	障がい者		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
実施事業	各公民館学級の人権講座における障がい者差別についての学習		
成果課題	令和4年度は令和3年度に引き続き、感染対策に留意しつつ、実施できる内容のものを実施した。		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	高齢者	その他の人権課題	
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	今後も障がい者の人権について学ぶ回を分かりやすく、興味を持ちやすい充実した内容で実施していく。		
事業の 方向性	〔目標値〕	1	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	まだ実施回数が少ないため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **84**

所管課 **教育委員会 学校教育課**

第	3	章	大	障がい者の人権問題	中	特別支援教育の充実及び交流・ふれあいの促進	小	教職員等の研修の充実
人権問題の分野				障がい者				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	障がい者	
事業(教育・啓発)対象者	教職員	その他
実施事業	巡回相談員の委嘱（医師4名、小中学校教員5名） 教職員専門研修（特別支援教育研修会）の開催 約200名参加 特別支援学校センター的機能充実事業の活用（特別支援学校教員2名） 専門家チーム等派遣事業の活用（1校実施）	
成果課題	・巡回相談は、医療や心理面からの指導が必要な事例について、巡回相談員が学校職員に対して指導助言を行った。25校延べ58名の児童生徒について相談を行った。 ・教職員専門研修は、月森久江氏を講師に迎え講話とグループ協議を実施し、約200名の教職員が参加した。 ・特別支援学校センター的機能充実事業では、各校から13回の派遣依頼があり、特別な支援を必要とする児童生徒への指導について助言いただいた。	
達成率〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	障がい者	
事業(教育・啓発)対象者	教職員	その他
事業計画	巡回相談員の委嘱（医師4名、小中学校教員5名） 教職員専門研修（特別支援教育研修会）の開催 特別支援学校センター的機能充実事業の活用（特別支援学校教員2名） 専門家チーム等派遣事業の活用	
事業の方向性	〔目標値〕	2 【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **85**

所管課 **健康福祉部 障がい福祉課**

第	3	章	大	障がい者の人権問題	中	特別支援教育の充実及び交流・ふれあいの促進	小	交流・ふれあいの促進
人権問題の分野				障がい者				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	障がい者		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		その他
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ○地域での支え合いの推進 地区社会福祉協議会による地域福祉活動支援 ○交流機会の拡充 ”市民福祉大会”の開催 R4.12.10 ○ボランティア活動の促進 社会福祉協議会によるボランティアの体験、養成、登録、派遣に係る補助 		
成果課題	様々な行事を長年に渡り継続的に開催することによって、障がい者と市民・他の福祉団体等との交流が深まりつつあり、相互理解について一定の効果が上げられている。		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	障がい者		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		その他
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ○地域での支え合いの推進 地区社会福祉協議会による地域福祉活動支援 ○交流機会の拡充 ”市民福祉大会”の開催 ○ボランティア活動の促進 社会福祉協議会によるボランティアの体験、養成に係る補助 		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **86**

所管課 **教育委員会 生涯学習課**

第	3	章	大	障がい者の人権問題	中	特別支援教育の充実及び交流・ふれあいの促進	小	交流・ふれあいの促進
人権問題の分野				障がい者				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	障がい者		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	助戸公民館あおぞら青年学級（9回6月～3月、延べ参加者数136名）		
成果課題	令和4年度は人数規模の縮小や、内容を通信講座として実施する等のコロナ感染対策を取った上で、実施方法を工夫し実施した。		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100～90% B : 89～70% C : 69～30% D : 29～1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	障がい者		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	今後も障がい者の理解促進、活動機会の提供を行っていく。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **87**

所管課 **教育委員会 学校教育課**

第	3	章	大	障がい者の人権問題	中	特別支援教育の充実及び交流・ふれあいの促進	小	交流・ふれあいの促進
人権問題の分野				障がい者				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	障がい者		
事業(教育・啓発)対象者	教職員		その他
実施事業	交流及び共同学習の推進。 居住地校交流の実施。		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> 各学校の総合的な学習の時間等の中で、実情に応じて可能な体験学習を行うなど障がいのある方への理解を深めることができた。 各学校が特別支援学級・特別支援学校との交流及び共同学習、並びに、居住地校交流を実施している。それぞれの児童生徒のねらいを明確にし、実態に応じて内容・方法を適切に定め、今後も、組織的・継続的に実施していく必要がある。 		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	障がい者		
事業(教育・啓発)対象者	教職員		その他
事業計画	交流及び共同学習の推進。 居住地校交流の実施。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **88**

所管課 **健康福祉部 障がい福祉課**

第	3	章	大	障がい者の人権問題	中	自立と社会参加の促進	小	啓発・広報活動の推進
人権問題の分野				障がい者				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	障がい者		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	市職員等	その他
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ○障がい者に対する理解と啓発の促進 ・広報紙、ホームページ、パンフレット等による啓発・広報活動 ・研修会の開催 ○精神保健・精神障がい者に関する正しい知識啓発の促進 ○福祉教育の推進 		
成果課題	継続的な研修・啓発等によって、障がいや障がい者に対する理解は深まりつつある。しかしながら、正しい知識の欠如による偏見、誤解等が完全に解消されたとは言えない。		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	障がい者		
事業(教育・啓発)対象者	市職員等	市職員等	その他
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ○障がい者に対する理解と啓発の促進 ・広報紙、ホームページ、パンフレット等による啓発・広報活動 ・研修会の開催 ○精神保健・精神障がい者に関する正しい知識啓発の促進 ○福祉教育の推進 		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **89**

所管課 **健康福祉部 障がい福祉課**

第	3	章	大	障がい者の人権問題	中	自立と社会参加の促進	小	社会参加活動の促進
人権問題の分野				障がい者				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	障がい者		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ○情報提供機能の充実、広報紙やホームページによる障がい者に必要な情報の発信 ○障がい者スポーツの推進：安足地区身体障がい者スポーツ大会（R4. 6. 19） 全国障害者スポーツ大会リハーサル大会（県障害者スポーツ大会）への参加（R4. 5月） ○ボランティア活動の促進：社会福祉協議会によるボランティアの体験、養成、登録、派遣等に係る補助 ○移動支援の充実：福祉タクシー券補助事業の実施、身体障害者自動車改造費助成事業の実施 		
成果課題	障がい者が積極的に社会参加をするための基礎づくりには一定の効果が上がっていると思われる。		
達成率〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A：100～90% B：89～70% C：69～30% D：29～1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	障がい者		
事業(教育・啓発)対象者	その他		
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ○情報提供機能の充実、広報紙やホームページによる障がい者に必要な情報の発信 ○障がい者スポーツの推進：安足地区身体障がい者スポーツ大会 県障害者スポーツ大会への参加 ○ボランティア活動の促進：社会福祉協議会によるボランティアの体験、養成、登録、派遣等に係る補助 ○移動支援の充実：福祉タクシー券補助事業の実施、身体障害者自動車改造費助成事業の実施 		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1：充実 2：現状維持 3：内容見直し 4：統廃合 5：縮小 6：その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **90**

所管課 **健康福祉部 障がい福祉課**

第	3	章	大	障がい者の人権問題	中	自立と社会参加の促進	小	障がい者にやさしいまちづくりの促進
人権問題の分野				障がい者				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	障がい者		
事業(教育・啓発)対象者	市職員等	市民等	
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ○都市環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・公共的建築物の改善整備の促進 ・案内表示の整備 ・意識啓発の推進 ○防災対策の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・防災知識の普及・啓発の推進 		
成果課題	施設改修等においてユニバーサルデザインを採用する建築物が増えてきているが、一方では公共施設に対する不満として障がい者が利用しやすいトイレが少ないとの意見も多い。		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	障がい者		
事業(教育・啓発)対象者	市職員等	市民等	
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ○都市環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・公共的建築物の改善整備の促進 ・案内表示の整備 ・意識啓発の推進 ○防災対策の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・防災知識の普及・啓発の推進 		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **91**

所管課 **産業観光部 商業にぎわい課**

第	3	章	大	障がい者の人権問題	中	職業的自立の促進	小	
人権問題の分野				障がい者				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	障がい者の雇用と就業安定を図るため、また、障がい者の雇用支援制度について情報提供するため、人権啓発パンフレットを作成し、配布した。		
成果課題	採用等において差別しない人権に配慮した体制づくりを企業に周知していくことが重要であり、今後も継続的に啓発が必要である。		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	前年度と同様、人権啓発パンフレットを作成・配布し、障がい者の雇用について啓発していく。		
事業の 方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **92**

所管課 **健康福祉部 障がい福祉課**

第	3	章	大	障がい者の人権問題	中	権利擁護の推進	小	権利擁護事業(「あすてらす」など)の普及
人権問題の分野				障がい者				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	障がい者		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ○「あすてらす」の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会において、障がい児者のいる家族向けに成年後見制度研修会を開催 (R4. 6. 25) ○障がい者虐待防止啓発用メモ帳を作成し、市内障害者支援施設、基幹相談支援センターに配布し啓発の促進を図った。 		
成果課題	「あすてらす」の周知や障がい者虐待防止の啓発など一定の効果を上げ、権利擁護に対する理解は深まってきているが、実際にその制度や事業を積極的に活用する状況づくりが必要。		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	障がい者		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ○「あすてらす」の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙、ホームページ等において「あすてらす」の周知を行う ○障がい者虐待防止の啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙、ホームページ、冊子等を活用し、市民への普及啓発を図る。 		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **93**

所管課 **健康福祉部 障がい福祉課**

第	3	章	大	障がい者の人権問題	中	権利擁護の推進	小	相談体制の充実
人権問題の分野				障がい者				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	障がい者		
事業(教育・啓発)対象者	福祉関係者		
実施事業	○相談支援機能の強化 ・障がい者基幹相談支援センターを核とした関係機関との相談支援体制の構築 ・障がい者、関係機関、団体等で構成される地域自立支援協議会を活用し、地域で支援していくためのネットワークの構築		
成果課題	ネットワーク構築に係る協議を行い、徐々に整備はされつつある。		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	障がい者		
事業(教育・啓発)対象者	福祉関係者		
事業計画	○相談支援機能の強化 ・障がい者基幹相談支援センターを核とした関係機関との相談支援体制の構築 ・障がい者、関係機関、団体等で構成される地域自立支援協議会を活用し、地域で支援していくためのネットワークの構築		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **94**

所管課 **生活環境部 市民生活課**

第	3	章	大	外国人の人権問題	中	教育・啓発の推進	小	国際理解教育の推進
人権問題の分野				外国人				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	外国人		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ○市内中学校での国際理解促進出前講座の実施（足利市国際交流協会に協力依頼） <ul style="list-style-type: none"> ・対象：市内中学1年生（9校） 市内中学2年生（1校） ・令和4（2022）年度受講生徒数 869名 ○市内公民館での国際理解出前講座の実施（足利市国際交流協会に協力依頼） <ul style="list-style-type: none"> ・市内4公民館で受講生を対象に実施 令和4（2022）年度実施講座数 7講座 		
成果課題	市内中学校10校及び市内公民館4館において講座を実施し、国際理解の促進に寄与した。		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A：100～90% B：89～70% C：69～30% D：29～1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	外国人		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ○市内中学校での国際理解促進出前講座の実施（国際交流協会に協力依頼） <ul style="list-style-type: none"> ・市内中学校12校で中学1年生を対象に実施（他学年でも対応可能） ○市内公民館での国際理解出前講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・市内公民館17館を対象とし、希望により実施 		
事業の 方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1：充実 2：現状維持 3：内容見直し 4：統廃合 5：縮小 6：その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **95**

所管課 **教育委員会 学校教育課**

第	3	章	大	外国人の人権問題	中	教育・啓発の推進	小	国際理解教育の推進
人権問題の分野				外国人				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	外国人		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	その他	
実施事業	外国語指導助手、英会話学習指導員（ALT）、英語活動協力員（EAA）の配置 姉妹都市スプリングフィールド市との交流（新型コロナウイルス感染症拡大により中止） 青少年国際交流における訪日団生徒の学校受け入れ（新型コロナウイルス感染症拡大により中止）		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTやEAAと日常的なふれあいを通して、外国人に対して臆せず話しかけられている。 ・「英語チャレンジDAY」の実施により、他校に勤務するALT・EAAと触れ合う時間が確保され、外国の知識や文化、外国人に対する理解が子供たちに深まっている。 ・小学校においてニュージーランド、フィリピンの現地校との英語によるオンライン交流を英語チャレンジDAYのプログラムとして設定し、実践的なコミュニケーションの場の設定や交流を通して異文化理解が深められた。 ・姉妹都市交流では、受け入れを実施できなかったが、代替事業として学校間の作品交流を行った。 		
達成率〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	外国人		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	その他	
事業計画	外国語指導助手、英会話学習指導員（ALT）、英語活動協力員（EAA）の配置 姉妹都市スプリングフィールド市との学校間交流（小・中学校） 青少年国際交流における訪日団生徒の学校受け入れ（令和5年度も中止）		
事業の方向性	〔目標値〕	1	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	小学校においての国際交流の継続、中学校において姉妹都市交流の再開に向けた準備や計画、代替事業の実施など、一層の国際理解教育の推進により多様性の理解を図る必要があるため。	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **96**

所管課 **生活環境部 市民生活課**

第	3	章	大	外国人の人権問題	中	教育・啓発の推進	小	人権啓発活動の推進
人権問題の分野				外国人				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	外国人		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	<p>○多文化共生推進事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「インターナショナルデイ in Ashikaga 2022」 11月6日(日) あしかがフラワーパークプラザ(市民プラザ) 小ホール 参加者125名 ・海の向こうの暮らし シリア編 9月24日(土) 生涯学習センター302号室 参加者数33名 ・足利市国際交流協会創立30周年記念講演会 令和5(2023)年1月27日(金) 栃木県南地域地場産業振興センター 大ホール 参加者数81名 		
成果課題	<p>全ての事業で市内在住の外国人や日本人が多く参加した。 「インターナショナルデイ」は参加者相互の交流・理解を深める機会となった。 「海の向こうの暮らし」は海外の暮らしや文化等について理解を深める機会となった。 「足利市国際交流協会創立30周年記念講演会」は災害時支援の経験や身近な事例を交えて講演いただいたことで、足利市民と市内在住外国人の相互理解や連携を考える機会となった。 「インターナショナルデイ」や「海の向こうの暮らし」については、さらに在住外国人を含む多くの市民に参加してもらえるよう内容等を工夫する必要がある。</p>		
達成率 〔評価値〕	A	<p>【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価</p> <p>A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%</p>	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	外国人		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	海の向こうの暮らし他、多文化共生推進事業の実施		
事業の方向性	〔目標値〕	2	<p>【次の中から1つ選んでください】</p> <p>1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他</p>
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **97**

所管課 **生活環境部 市民生活課**

第	3	章	大	外国人の人権問題	中	教育・啓発の推進	小	国際交流の推進
人権問題の分野				外国人				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	外国人		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	足利市姉妹都市委員会、足利市国際交流協会への交付金の交付及び事業支援		
成果課題	継続的な取り組みにより、徐々に市民の国際交流に対する理解は深まっている。 姉妹・友好都市交流については、青少年交流事業をはじめその教育的効果をより高めるとともに、市民レベルでの相互交流の推進を図れるよう取り組む必要がある。		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	外国人		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	足利市姉妹都市委員会、足利市国際交流協会への交付金の交付及び事業支援を行う		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **98**

所管課 **生活環境部 市民生活課**

第	3	章	大	外国人の人権問題	中	在住外国人への支援	小	外国語による情報提供の促進
人権問題の分野				外国人				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	外国人		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ○多言語版あしかがみの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・「あしかがみ」ダイジェスト版をスペイン語・ポルトガル語・英語・中国語の4言語へ翻訳 ・月2回発行(1回約100部) ○多言語版あしかがみの市ホームページへの掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・月2回更新 ○市民生活ガイド(ホームページ版)の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活を送るために必要な情報をまとめ、市ホームページに掲載(自動翻訳機能を使用することで多言語での閲覧が可能) ・年1回全体更新 ※各ページは随時更新 		
成果課題	継続的な取組により、徐々に在住外国人が住みやすいまちづくりを推進できている。外国語による情報提供をより充実させるため、多言語版あしかがみ以外にも必要な情報のホームページへの掲載を積極的に行う必要がある。		
達成率〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	外国人		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ○多言語版あしかがみの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・「あしかがみ」ダイジェスト版をスペイン語・ポルトガル語・英語・中国語の4言語へ翻訳 ・月2回発行(1回約100部) ○多言語版あしかがみの市ホームページへの掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・月2回更新 ○市民生活ガイド(ホームページ版)の更新 <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活を送るために必要な情報をまとめ、市ホームページに掲載(自動翻訳機能を使用することで多言語での閲覧が可能) ・年1回全体更新 ※各ページは随時更新 		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **99**

所管課 **生活環境部 市民生活課**

第	3	章	大	外国人の人権問題	中	在住外国人への支援	小	外国人相談の充実
人権問題の分野				外国人				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	外国人		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	○行政書士による無料在留資格相談を実施 ・月1回実施(栃木県行政書士会足利支部が協力) R4年度実績13件		
成果課題	市、行政書士会及び足利市国際交流協会が協働して外国人のための無料在留資格相談を実施できた。また、継続的な取組により、徐々に在住外国人が住みやすいまちづくりを推進できている。制度を利用してもらうために、市広報紙だけでなく幅広い周知を行う必要がある。		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	外国人		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	○行政書士による無料在留資格相談を実施 ・月1回実施(栃木県行政書士会足利支部が協力)		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **100**

所管課 **生活環境部 市民生活課**

第	3	章	大	外国人の人権問題	中	在住外国人への支援	小	日本語学習の支援
人権問題の分野				外国人				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	外国人		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	○足利市国際交流協会で開催する日本語教室に対し、会場使用料の減免及び多言語版あしかがみでの周知等を支援		
成果課題	継続的な取組により、徐々に在住外国人が住みやすいまちづくりを推進できている。受講生の定着化につながるよう、幅広い周知を行う必要がある。		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	外国人		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	○足利市国際交流協会で開催する日本語教室や日本語教室運営会議に対し会場使用料の減免 ○日本語教室の開催の有無等について多言語版あしかがみで周知等を支援		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **101**

所管課 **教育委員会 生涯学習課**

第	3	章	大	外国人の人権問題	中	在住外国人への支援	小	日本語学習の支援
人権問題の分野				外国人				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	外国人		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	織姫公民館における外国人のための日本語講座は、平成28年度いっぱい終了のため、未実施。		
成果課題			
達成率 〔評価値〕	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%		

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	外国人		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	同じ内容のものが、他の施設、他の団体でも実施されているため、28年度で廃止とする。		
事業の 方向性	〔目標値〕	6	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	機会の提供という意味で、役目を終えたため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **102**

所管課 **教育委員会 学校教育課**

第	3	章	大	外国人の人権問題	中	在住外国人への支援	小	日本語学習の支援
人権問題の分野				外国人				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	外国人		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	その他	
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> 外国人児童生徒教育専門指導員（2名）による日本語指導が必要な児童生徒への巡回訪問指導の実施 外国人児童生徒教育支援員（2名）による外国籍児童生徒への学習支援・生活支援 多言語対応音声通訳機の配付及び活用 足利市版入学のしおり「小学校入学に向けて」（多言語版）の配付 		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> 母語での指導を行うことで学習内容が理解でき、学習への意欲を示すようになった子供がいる。 個別に指導することで、わからない内容も気軽に質問ができ、繰り返し学習することができる。 支援員が他の子供たちとのコミュニケーションの支援をしたことにより、表情が明るくなり、交友関係が広がった外国籍児童がいる。 外国籍の児童生徒の多国籍化・多言語化が進み、十分な対応ができていない。 		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	外国人		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	その他	
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 外国人児童生徒教育専門指導員の任命（2名）と日本語巡回訪問指導の実施 外国人児童生徒教育支援員の委嘱（3名）と日本語指導における学習支援・生活支援の実施 多言語対応音声通訳機の活用 足利市版入学のしおり「小学校入学に向けて」（多言語版）の配付 		
事業の 方向性	〔目標値〕	1	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	外国人児童生徒等の増加と国籍の多様化に対応するための手立てを充実する必要がある。	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **103**

所管課 **生活環境部 市民生活課**

第	3	章	大	外国人の人権問題	中	在住外国人への支援	小	日本の芸術文化学習の支援
人権問題の分野				外国人				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	外国人		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	<p>○多文化共生推進事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「インターナショナルデイ in Ashikaga 2022」 11月6日(日) あしかがフラワーパークプラザ(市民プラザ) 小ホール 参加者125名 ○各種制度への取組み(ボランティア通訳人材バンク制度、外国人住民に対する相談事業など) ・ボランティア通訳人材バンク制度 R4年度 依頼6件、活動実績4件 ・外国人住民に対する相談事業 R4年度実績約10件 		
成果課題	<p>「インターナショナルデイ」は市内在住の外国人や日本人が参加し、相互の交流・理解を深める機会となった。また、ボランティア通訳人材バンク等への取組みは例年どおり実施した。</p> <p>「インターナショナルデイ」は新型コロナウイルス感染症対策を講じた上での実施となったが、今後は国や県、市の方針に則りながらの実施が必要となる。また、在住外国人を含む多くの市民に参加してもらえるよう内容を工夫する必要がある。</p>		
達成率 〔評価値〕	B	<p>【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価</p> <p>A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%</p>	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	外国人		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	<p>○多文化共生推進イベントの他、多文化共生推進に関する事業の実施</p> <p>○各種制度への取組み(ボランティア通訳人材バンク制度、外国人住民に対する相談事業など)</p>		
事業の方向性	〔目標値〕	2	<p>【次の中から1つ選んでください】</p> <p>1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合</p> <p>5 : 縮小 6 : その他</p>
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **104**

所管課 生活環境部 市民生活課

第	3	章	大	外国人の人権問題	中	在住外国人への支援	小	外国人の適正就労の推進
人権問題の分野				外国人				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	外国人		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	○外国人相談の実施（行政書士による無料在留資格相談） R4年度実績13件		
成果課題	制度の継続的な取組みにより、在住外国人への支援を行うことができた。 制度を利用してもらうために、市広報紙だけでなく幅広い周知を行う必要がある。		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	外国人		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	○外国人相談の実施（行政書士による無料在留資格相談） ・月1回実施（栃木県行政書士会足利支部が協力）		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **105**

所管課 **産業観光部 商業にぎわい課**

第	3	章	大	外国人の人権問題	中	在住外国人への支援	小	外国人の適正就労の推進
人権問題の分野				外国人				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	職場における人権教育・啓発に関する自主的取組が推進されるよう支援するため、人権啓発パンフレットを作成し、配布した。		
成果課題	不当な取り扱いがなされないよう関係機関と連携し、継続的な啓発をしていく。		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	前年度と同様に、関係機関と連携し、人権啓発、労働問題の解決に寄与するため人権啓発パンフレットの作成・配布を実施する。		
事業の 方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **106**

所管課 **生活環境部 市民生活課**

第	3	章	大	外国人の人権問題	中	在住外国人への支援	小	外国人の意見を行政に反映させる機会の充実
人権問題の分野				外国人				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	外国人		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	○在住外国人からの「市長への手紙／電子メール」等への対応		
成果課題	令和4年度の在住外国人からの「市長への手紙／電子メール」による問い合わせは0件であった。しかし、電話や窓口での問い合わせや相談が約10件あり、それに対して情報提供等を行った。電話や窓口での問い合わせや相談はあるが、「市長への手紙／電子メール」による問い合わせは過去の実績を見ても少ないことから、本制度の周知方法について検討していく。		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	外国人		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	○在住外国人からの「市長への手紙／電子メール」等への対応 ○外国人から受信したメール・電話等での相談対応		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **107**

所管課 **教育委員会 学校教育課**

第	3	章	大	HIV感染者やハンセン病患者及び元患者等の人権問題等	中	教育・啓発活動の推進	小	エイズ及び性感染症の予防に関する教育の推進
人権問題の分野				HIV感染者やハンセン病患者等				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	HIV感染者やハンセン病患者等(感染症含む)		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	その他	
実施事業	学校教育指導計画に、体育指導の充実と保健・安全指導の徹底を位置付け、「性に関する指導」の徹底に努めるよう周知 各学校が、体育・保健体育科において「性に関する指導」「エイズに関する指導」、社会科において「基本的人権の尊重」を、年間指導計画に基づき指導したことを確認		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問等による指導・助言により、教職員が、各教科・領域等の中で、個別の人権課題について適切に取り上げることで、子どもたちの正しい理解が深まっている。 ・より効果的な教材の収集や開発など、教材研究や研修を通して、認識を継続して深める必要がある。 		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	HIV感染者やハンセン病患者等(感染症含む)		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	その他	
事業計画	学校教育指導計画に、体育指導の充実と保健・安全指導の徹底を位置付け、「性に関する指導」の徹底と「感染症予防の指導」の充実に努めるよう周知 体育・保健体育科（性に関する指導、エイズに関する指導）への指導助言 社会科「基本的人権の尊重」への指導助言		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **108**

所管課 **行政経営部 人権・男女共同参画課**

第	3	章	大	HIV感染者やハンセン病患者及び元患者等の 人権問題等	中	教育・啓発活動の推進	小	啓発活動の推進
人権問題の分野				HIV感染者やハンセン病患者等				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	HIV感染者やハンセン病患者等(感染症含む)		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
実施事業	<p>人権擁護機関や関係団体等と連携を図り、各種啓発事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひとtoひとのフォーラム」(人権週間事業)の開催 ・リーフレットや啓発物品等の作成・配布、各種啓発資料の配布・展示 ・ポスターやオールとちぎ宣言等の掲出 ・市内商業施設(電光掲示板)に広報掲示依頼をしたが、故障のため掲示不可 ・人権推進広報紙の発行・全戸配布 		
成果課題	<p>継続的な取り組みによって、市民の関心が高まり、正しい理解や認識は深まりつつあると思われるが、今後もさらに効果的な啓発ができるよう、各種啓発資料の作成や関係機関等と連携した事業の実施が必要である。</p>		
達成率 〔評価値〕	B	<p>【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価</p> <p>A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%</p>	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野			
事業(教育・啓発)対象者			
事業計画	<p>前年度と同様に多くの事業を予定しており、さらに人権問題についての正しい知識と理解を深めるため、人権擁護機関や関係団体等と連携を図りながら各種啓発事業を実施する。</p>		
事業の方向性	〔目標値〕	2	<p>【次の中から1つ選んでください】</p> <p>1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合</p> <p>5 : 縮小 6 : その他</p>
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **109**

所管課 **健康福祉部 健康増進課**

第	3	章	大	HIV感染者やハンセン病患者及び元患者等の人権問題等	中	教育・啓発活動の推進	小	啓発活動の推進
人権問題の分野				HIV感染者やハンセン病患者等				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	<p>【事業名】 思春期講座</p> <p>【目的】 市内小中学校と連携し、授業の一環として自己の性を受容し、自分を大切にすることを学び、性にかかわる自己決定能力を獲得する場を設ける。講座の中で、エイズなどの性感染症の予防や正しい知識の普及を図り、差別や偏見の解消に向けた啓発活動を推進する。</p> <p>【実施結果】 小学校20校 延べ1017人 中学校9校 延べ1195人</p>		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> 開催を希望した小中学校で実施し、性や差別偏見の解消に向けた正しい知識を普及した。 今後も小中学生に正しい知識の定着が図れるよう継続していく。 		
達成率 〔評価値〕	B	<p>【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価</p> <p>A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%</p>	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	子ども		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	<p>【事業名】 思春期講座</p> <p>【目的】 授業の一環として、命の尊さや自己の性を受容し自分や他人を大切にすること、性に関わる自己決定能力を獲得するきっかけづくりを行う。また、講座の中で、個人差、男女差やエイズなどの性感染症について正しい知識の普及を図り、差別や偏見の解消に向けた啓発を行う。</p> <p>【方法】 小中学校と連携し講座を実施</p>		
事業の方向性	〔目標値〕	2	<p>【次の中から1つ選んでください】</p> <p>1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合</p> <p>5 : 縮小 6 : その他</p>
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **110**

所管課 **教育委員会 学校教育課**

第	3	章	大	インターネットによる人権侵害	中	教育・啓発活動の推進	小	学校での情報モラル教育の充実
人権問題の分野				インターネット				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	インターネット		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	その他	
実施事業	<p>学校教育指導計画に、児童生徒指導の充実を位置付け、「情報教育指導計画」を策定し、発達の段階に応じた情報モラル指導の強化・徹底を周知した。</p> <p>教職員の資質向上のための研修会（「メディアリテラシー研修会」）を実施し、約108名の教職員等が参加した。</p> <p>学校訪問や校長会議等で、特別活動において「メディアリテラシー」、携帯電話等に関する「情報モラル」教育への指導助言を行った。</p> <p>啓発資料（あしかがっ子の『スマホ・ケータイ』ルール）の周知を行った。</p>		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアリテラシーに関する資料提供や学校訪問による指導・助言により、情報モラルへの理解を深め道徳・特別活動、総合的な学習の時間の中で、情報の収集や発信、SNS等に関する人権課題について適切に取り上げることで、子どもたちに適切な情報の収集と発信の正しい理解が深まっている。 ・1人1台タブレット端末の利用に際し、人が嫌がることや人を傷つけることをしないよう、情報モラルの徹底を各学校に呼びかけた。 ・より効果的な教材の収集や開発など、教材研究や研修を通し教員の認識を継続して深める必要がある。 		
達成率 〔評価値〕	B	<p>【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価</p> <p>A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%</p>	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	インターネット		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	その他	
事業計画	<p>学校教育指導計画に児童生徒指導の充実を位置付け、「情報教育指導計画」に基づいた発達の段階に応じた情報モラル指導の徹底を図る。</p> <p>教職員の資質向上のための研修会（「メディアリテラシー研修会」）の実施</p> <p>学校訪問による学級活動等（メディアリテラシー、携帯電話等）への指導助言</p> <p>啓発資料（あしかがっ子の『スマホ・ケータイ』ルール）の周知</p> <p>「児童生徒のスマートフォン・携帯電話等の利用に係るアンケート」の実施</p>		
事業の方向性	〔目標値〕	2	<p>【次の中から1つ選んでください】</p> <p>1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合</p> <p>5 : 縮小 6 : その他</p>
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **111**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	3	章	大	インターネットによる人権侵害	中	教育・啓発活動の推進	小	啓発活動の推進
人権問題の分野				インターネット				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	インターネット	
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他
実施事業	<p>人権擁護機関や関係団体等と連携を図り、各種啓発事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットや啓発物品等の作成・配布 ・各種啓発資料の配布・展示やポスター等の掲出 ・市ホームページにて動画紹介 ・「ひとtoひとのフォーラム」(人権週間事業) の開催 ・人権推進広報紙の発行・全戸配布 ・必要に応じた、部落差別(同和問題)に関するモニタリング調査を実施 	
成果課題	<p>インターネット環境においては、その匿名性や情報発信の容易さから個人の名誉を侵害したり、差別を助長する表現など、様々な問題が発生しているため、利用者に対して個人の名誉やプライバシーに関する正しい理解を深めるための啓発活動を引き続き推進していくことが必要である。</p>	
達成率 〔評価値〕	B	<p>【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価</p> <p>A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%</p>

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	インターネット	
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他
事業計画	<p>前年度と同様に多くの事業を予定しており、さらに人権問題についての正しい知識と理解を深めるため、人権擁護機関や関係団体等と連携を図りながら各種啓発事業を実施する。</p>	
事業の方向性	〔目標値〕	<p>【次の中から1つ選んでください】</p> <p>1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合</p> <p>5 : 縮小 6 : その他</p>
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **112**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	3	章	大	インターネットによる人権侵害	中	法務局との連携強化	小	
人権問題の分野				インターネット				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	インターネット		
事業(教育・啓発)対象者	その他		
実施事業	<p>部落差別（同和問題）に対するモニタリングを令和3年度に引き続き実施した。 インターネット上において、人権侵犯事件につながるような表現が掲載されるなどの悪質な事案が発生した場合に、プロバイダ等に対する削除要請などの適切な対応が可能となるように法務局との連携を密にした体制により、随時対応をしている。 引き続き、市長への手紙（メール）による削除要請への体制の整備を実施。</p>		
成果課題	<p>令和4年度において、プロバイダ等へ削除要請実績はなし。インターネット環境では日常的に人権侵害と思われる悪質な表現の書き込みが行われているため、今後も情報収集と法務局との連携体制を強化していく。</p>		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	インターネット		
事業(教育・啓発)対象者	その他		
事業計画	<p>引き続き、必要に応じたモニタリングを実施していく。 また、前年度と同様、インターネット上における他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現の掲載等の悪質な事案が発生した場合は、法務局と連携してプロバイダ等に削除を求めるなど適切な対応を行う。</p>		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **113**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	3	章	大	様々な人権問題	中	アイヌの人々	小	
人権問題の分野				アイヌの人々				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	アイヌの人々		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
実施事業	人権擁護機関や関係団体等と連携を図り、各種啓発事業を実施した。 ・リーフレットや啓発物品等の作成・配布 ・各種啓発資料の配布・展示 ・ポスター等の掲出 ・「ひとtoひとのフォーラム」(人権週間事業) の開催 ・人権推進広報紙の発行・全戸配布		
成果課題	継続的な取り組みによって、市民の関心が高まり、正しい理解や認識は深まりつつあると思われるが、さらに効果的な啓発ができるよう、今後も各種啓発資料の作成や関係機関等と連携した事業の実施が必要である。		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	アイヌの人々		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
事業計画	前年度と同様に多くの事業を予定しており、さらに人権問題についての正しい知識と理解を深めるため、人権擁護機関や関係団体等と連携を図りながら各種啓発事業を実施する。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **114**

所管課 教育委員会 生涯学習課

第	3	章	大	様々な人権問題	中	アイヌの人々	小	
人権問題の分野				アイヌの人々				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	アイヌの人々		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
実施事業	公民館の少年教室等におけるアイヌの事例学習		
成果課題	令和4年度は令和3年度に引き続き、コロナ感染対策を実施の上、実施できる内容のものを実施した。		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	アイヌの人々		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
事業計画	アイヌの人々の人権について学ぶ機会を増やしていきたい。		
事業の方向性	〔目標値〕	1	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	まだ実施回数が少ないため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **115**

所管課 **教育委員会 学校教育課**

第	3	章	大	様々な人権問題	中	アイヌの人々	小	
人権問題の分野				アイヌの人々				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	アイヌの人々		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	その他	
実施事業	社会科において、年間指導計画に基づき、「アイヌの人々」や、「基本的人権」について指導したことを確認した。		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科の中で、アイヌの人々に対する人権問題について、適切に扱うことにより、子どもたちの正しい理解が深まっている。 ・公益財団法人アイヌ民族文化財団作成『アイヌ民族：歴史と現在～未来を共に生きるために～』を送付し、授業等での活用を促した。 ・学校や地域、児童生徒の実態に応じて様々な人権問題の取り上げ方などを配慮しながら指導する必要がある。 		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100～90% B : 89～70% C : 69～30% D : 29～1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	アイヌの人々		
事業(教育・啓発)対象者	教職員	その他	
事業計画	学校訪問による社会科（アイヌの人々、基本的人権）への指導・助言		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **116**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	3	章	大	様々な人権問題	中	刑を終えて出所した人	小	
人権問題の分野				刑を終えて出所した人				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	刑を終えて出所した人		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
実施事業	人権擁護機関や関係団体等と連携を図り、各種啓発事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットや啓発物品等の作成・配布 ・各種啓発資料の配布・展示 ・ポスター等の掲出 ・「ひとtoひとのフォーラム」(人権週間事業)の開催 ・人権推進広報紙の発行・全戸配布 ・足利市の再犯防止に関する関係課会議に出席 ・人権団体主催のドキュメンタリー映画上映会参加 		
成果課題	継続的な取り組みによって、市民の関心が高まり、正しい理解や認識は深まりつつあると思われるが、さらに効果的な啓発ができるよう、今後も各種啓発資料の作成や関係機関等と連携した事業の実施が必要である。		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	刑を終えて出所した人		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
事業計画	前年度と同様に多くの事業を予定しており、さらに人権問題についての正しい知識と理解を深めるため、人権擁護機関や関係団体等と連携を図りながら各種啓発事業を実施する。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **117**

所管課 **産業観光部 商業にぎわい課**

第	3	章	大	様々な人権問題	中	刑を終えて出所した人	小	
人権問題の分野				刑を終えて出所した人				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
実施事業	刑を終えて出所した人の社会復帰のため、周囲の人々の理解や協力が得られるよう啓発を推進するため、人権啓発パンフレットを作成し、配布した。 「足利市再犯防止に関する庁内連絡会議」への出席など。		
成果課題	再犯を防止するためにも就労を支援することは非常に重要であり、継続的に企業に周知していくことが必要である。		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等		
事業計画	前年度と同様、人権啓発パンフレットを作成・配布し、企業に周知していく。		
事業の 方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **118**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	3	章	大	様々な人権問題	中	性的指向(SOGI)等	小	
人権問題の分野				性的指向(SOGI)等				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	性的指向(SOGI)等		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
実施事業	人権擁護機関や関係団体等と連携を図り、各種啓発事業を実施した。 ・リーフレットや啓発物品等の作成・配布 ・各種啓発資料の配布・展示やポスター等の掲出 ・栃木県が導入した「パートナーシップ宣誓制度」について賛同し市営住宅への入居等に対応 ・市ホームページにて動画紹介 ・「ひとtoひとのフォーラム」(人権週間事業)の開催 ・人権推進広報紙の発行・全戸配布 ・足利女子高等学校作成の「イロトリドリ」(マンガ)の配布		
成果課題	継続的な取り組みによって、市民の関心が高まり、正しい理解や認識は深まりつつあると思われるが、さらに効果的な啓発ができるよう、今後も各種啓発資料の作成や関係機関等と連携した事業の実施が必要である。 本報告書から、施策の分野名称を変更し、「障がい」という表現を修正した。今後も変更した名称を使用していく。		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	性的指向(SOGI)等		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
事業計画	前年度と同様に多くの事業を予定しており、さらに人権問題についての正しい知識と理解を深めるため、人権擁護機関や関係団体等と連携を図りながら各種啓発事業を実施する。 栃木県が導入した「パートナーシップ宣誓制度」に関する庁内対応サービスの確認・対応。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **119**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	3	章	大	様々な人権問題	中	犯罪被害者等	小	
人権問題の分野				犯罪被害者等				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	犯罪被害者等		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
実施事業	人権擁護機関や関係団体等と連携を図り、各種啓発事業を実施した。 ・ 足利市犯罪被害者等支援条例及び同施行規則の施行（令和5年1月） ・ リーフレットや啓発物品等の作成・配布 ・ 各種啓発資料の配布・展示 ・ ポスター等の掲出 ・ 「ひとtoひとのフォーラム」（人権週間事業）の開催 ・ 人権推進広報紙の発行・全戸配布		
成果課題	継続的な取り組みによって、市民の関心が高まり、正しい理解や認識は深まりつつあると思われるが、さらに効果的な啓発ができるよう、今後も各種啓発資料の作成や関係機関等と連携した事業の実施が必要である。		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	犯罪被害者等		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
事業計画	前年度と同様に多くの事業を予定しており、さらに人権問題についての正しい知識と理解を深めるため、人権擁護機関や関係団体等と連携を図りながら各種啓発事業を実施する。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **120**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	3	章	大	様々な人権問題	中	北朝鮮当局によって拉致された被害者等	小	
人権問題の分野				北朝鮮当局による拉致被害者等				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	北朝鮮当局による拉致被害者等		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
実施事業	人権擁護機関や関係団体等と連携を図り、各種啓発事業を実施した。 ・リーフレットや啓発物品等の作成・配布 ・各種啓発資料の配布・展示 ・ポスター等の掲出 ・「ひとtoひとのフォーラム」(人権週間事業)の開催 ・人権推進広報紙の発行・全戸配布		
成果課題	継続的な取り組みによって、市民の関心が高まり、正しい理解や認識は深まりつつあると思われるが、さらに効果的な啓発ができるよう、今後も各種啓発資料の作成や関係機関等と連携した事業の実施が必要である。		
達成率〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	北朝鮮当局による拉致被害者等		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
事業計画	前年度と同様に多くの事業を予定しており、さらに人権問題についての正しい知識と理解を深めるため、人権擁護機関や関係団体等と連携を図りながら各種啓発事業を実施する。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **121**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	3	章	大	様々な人権問題	中	大規模災害に関する人権問題	小	
人権問題の分野				大規模災害に起因する人権				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	大規模災害に起因する人権		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
実施事業	<p>人権擁護機関や関係団体等と連携を図り、各種啓発事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットや啓発物品等の作成・配布 ・各種啓発資料の配布・展示 ・ポスター等の掲出 ・「ひとtoひとのフォーラム」(人権週間事業)の開催 ・人権推進広報紙の発行・全戸配布 		
成果課題	<p>継続的な取り組みによって、市民の関心が高まり、正しい理解や認識は深まりつつあると思われるが、さらに効果的な啓発ができるよう、今後も各種啓発資料の作成や関係機関等と連携した事業の実施が必要である。</p>		
達成率 〔評価値〕	B	<p>【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価</p> <p>A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%</p>	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	大規模災害に起因する人権		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
事業計画	<p>前年度と同様に多くの事業を予定しており、さらに人権問題についての正しい知識と理解を深めるため、人権擁護機関や関係団体等と連携を図りながら各種啓発事業を実施する。</p> <p>また、足利市地域防災計画においては、「人権班」として避難所管理、防犯活動等の協力などを行うこととなっており、大規模災害が発生した際には、女性や障がい者などは、人権上の配慮が必要となることから、施設管理者などに適宜、アドバイスをを行い、避難者に寄り添った対応を行う。</p>		
事業の方向性	〔目標値〕	2	<p>【次の中から1つ選んでください】</p> <p>1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合</p> <p>5 : 縮小 6 : その他</p>
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **122**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	3	章	大	様々な人権問題	中	その他の課題	小	
人権問題の分野				その他の人権課題				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	その他の人権課題		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
実施事業	人権擁護機関や関係団体等と連携を図り、各種啓発事業を実施した。 ・リーフレットや啓発物品等の作成・配布 ・各種啓発資料の配布・展示 ・ポスター等の掲出 ・市ホームページにて動画紹介 ・「ひとtoひとのフォーラム」(人権週間事業) の開催 ・人権推進広報紙の発行・全戸配布		
成果課題	継続的な取り組みによって、市民の関心が高まり、正しい理解や認識は深まりつつあると思われるが、さらに効果的な啓発ができるよう、今後も各種啓発資料の作成や関係機関等と連携した事業の実施が必要である。		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	その他の人権課題		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
事業計画	前年度と同様に多くの事業を予定しており、さらに人権問題についての正しい知識と理解を深めるため、人権擁護機関や関係団体等と連携を図りながら各種啓発事業を実施する。 ロシアやウクライナ等(避難民等を含む)に関する差別や誹謗中傷(ヘイト等)が発生していないか注視していく。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	人権問題については、正しい知識と理解を深めるために、継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **123**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	3	章	大	人権教育・啓発資料の整備	中		小	
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・人権推進広報紙「おもいやり」の発行（全戸配布） ・各種リーフレットの配布 ・ポスター、パネル等の作成 ・啓発物品の作成・購入 ・関係機関が作成した資料等の活用 		
成果課題	視覚的効果のある啓発資料等の配布や掲出をしたことで、効果的な人権啓発が展開できた。しかし、生活環境や価値観の多様化により、一人ひとりの人権意識にも大きな差があるため、今後も効果的な啓発を行うためには、対象者に合わせた資料の作成や活用が必要である。		
達成率〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
事業計画	<p>対象者の発達段階等に応じた資料と、あらゆる場面で人権について学ぶことができる学習教材等の整備を行う。</p> <p>また、資料等作成の際には、興味や関心を持ってもらえるような内容となるように工夫するとともに、関係機関などが発行する啓発資料等についても活用を図る。</p>		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **124**

所管課 教育委員会 生涯学習課

第	3	章	大	人権教育・啓発資料の整備	中		小	
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	市職員等	
実施事業	視聴覚ライブラリーにおける人権問題教材の充実		
成果課題	様々な場、対象に対応できるよう、不特定多数で視聴できるタイプの人権問題DVD（ソフト）や視聴に必要となる機材（ハード）の充実を図っている。		
達成率 〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	市職員等	
事業計画	視聴覚ライブラリーにおける人権問題教材及び機材の充実を図っていきたい。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **125**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	4	章	大	行動計画の推進	中		小	
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市職員等	その他	
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 足利市人権推進幹事会を中心とした施策の推進 ・ 足利人権擁護委員協議会足利部会における人権擁護活動等の推進 ・ 足利人権擁護委員協議会（足利・佐野）における人権擁護活動等への支援 ・ 足利人権啓発地域ネットワーク協議会の事業実施 ・ 関係部課における施策事業の推進 		
成果課題	<p>人権擁護委員組織体（部会・協議会・ネットワーク協議会）や各関係団体との連携を図りながら啓発活動や関係施策を推進している。</p> <p>人権問題の解決に向けた施策の推進は、関係機関相互の緊密な連絡調整が不可欠であり、今後もさらなる連携を図りながら施策の推進に努めたい。</p>		
達成率 〔評価値〕	B	<p>【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価</p> <p>A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%</p>	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市職員等	その他	
事業計画	<p>前年度と同様に、関係部課や関係機関等との緊密な連携調整を図りながら、行動計画の趣旨を踏まえた施策を推進する。</p>		
事業の方向性	〔目標値〕	2	<p>【次の中から1つ選んでください】</p> <p>1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合</p> <p>5 : 縮小 6 : その他</p>
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **126**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	4	章	大	国、県、企業、団体等との連携	中		小	
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市民等	その他	
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権擁護機関、人権擁護委員組織体等との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権教育・啓発推進県民運動強調月間に伴う各種啓発（8月） ・ 小学生人権書道コンテスト（募集：9月、表彰式：12月） ・ 人権啓発ポスターコンテスト（募集：9月、表彰式：12月） ・ 人権週間に伴う各種啓発（11～12月） ○ 企業・団体等との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権週間に伴う各種啓発（11～12月） ・ 市内商業施設（電光掲示板）に広報掲示依頼をしたが、故障のため掲示不可 		
成果課題	関係機関や企業・団体等と連携を図り、継続的な啓発活動を実施してきたことにより、市民意識の向上に効果的な啓発活動を展開することができた。 今後も関係機関や各種団体との連携を図りながら、より一層の人権教育・啓発を推進していくことが必要である。		
達成率 〔評価値〕	B	【次の中から1つ選んでください】※ 担当課(室)における自己評価 A : 100～90% B : 89～70% C : 69～30% D : 29～1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市職員等	その他	
事業計画	様々な人権問題についての正しい知識と理解を深めるため、人権擁護機関や関係団体等との連携を図るとともに、企業や団体等における人権教育・啓発の支援に努める。		
事業の方向性	〔目標値〕	2	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	継続的に実施することが必要であるため	

足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕

令和4年度事業実績 及び 令和5年度事業計画 報告

施策番号 **127**

所管課 行政経営部 人権・男女共同参画課

第	4	章	大	行動計画の進行管理と見直し	中		小	
人権問題の分野				人権全般				

1. 令和4年度における施策事業の進捗状況

実施した事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市職員等	その他	
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年度の進捗状況調査について：〔第4期計画〕6年目 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度末に関係各課より報告された調査票の解析 ・ 足利市人権推進幹事会及び足利市人権推進審議会において調査結果を報告 ○ 令和4年度の進捗状況調査について：〔第4期計画〕7年目 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度末に関係各課における施策の進捗状況等を調査（照会および調査票の回収） 		
成果課題	令和元年度実施の市民意識調査を考慮しつつ、その結果を施策推進に反映させられるよう、国や県の動向及び社会状況の変化等を踏まえて、行動計画を見直していくことが必要である。		
達成率〔評価値〕	A	【次の中から1つ選んでください】※担当課(室)における自己評価 A : 100~90% B : 89~70% C : 69~30% D : 29~1%	

2. 令和5年度における施策事業の実施計画

実施する事業の主な分野	人権全般		
事業(教育・啓発)対象者	市職員等	その他	
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度に調査した関係施策の進捗状況と解析及び公表を行い、施策の推進に反映させる。 ・ 国や県の動向及び社会状況の変化を踏まえ必要に応じた見直しを行う。 ・ 令和4年度の関係施策についての進捗状況調査を行う。 ・ 次期「行動計画」策定（令和7年度中）に向けての市民意識調査の準備。 		
事業の方向性	〔目標値〕	1	【次の中から1つ選んでください】 1 : 充実 2 : 現状維持 3 : 内容見直し 4 : 統廃合 5 : 縮小 6 : その他
	〔理由〕	令和7年度末までとなる現在の人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕の次期計画策定に向けた準備を始める。	